

令和2年度事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大とともに始まり、コロナ禍の中での1年となった。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い減収となった世帯を対象として3月25日から始まった生活福祉資金の特例貸付は4月に入って激増し、当初7月末までとされた期限が9月末まで延長され、更に3回の延長を繰り返して令和3年6月末まで実施されることとなった。この結果、令和2年度の貸付実績は4万5千件を超え貸付額も162億円あまりに上った。

この未曾有の事態に対し、当会では年度当初から事務局員が総力を挙げてこれにあたった他、派遣職員の増員、更に8月からは業務委託を導入するなど逐次体制の強化を図った。なお、住民相談等の窓口の役割を担う市町村社協の尽力も多大なものであり、まさに全県の社協が総力を挙げた一大事業となった。

その他、コロナ禍により災害ボランティアセンター運営訓練や、いばらきねりんスポーツ大会など46事業が中止を余儀なくされた他、緊急事態宣言を受けた県の指示により県総合福祉会館が一時休館となるなど、当会の運営や事業は大きな影響を受けた。

このような困難な状況にあって、本会では、「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」のため、行政、市町村社会福祉協議会（以下「市町村社協」という。）をはじめ、社会福祉関係機関・団体等と更なる連携強化を図りながら、令和元年度を計画初年度とする第5次茨城県地域福祉活動推進プランに基づき、今年度は次のような各種事業を展開した。

まず、人と人との「絆」の構築のための事業として、住民の支え合い活動であるサロン活動等を推進するはんどちゃんネットワーク運動において、交流型のサロンに加えて課題解決型のサロンづくりを進めたほか、ボランティア・市民活動への助成等による支援、「地域福祉推進セミナー」の開催による市町村社協のスキルアップなどに取り組んだ。

次に、福祉に従事する様々な人材が、その資質を向上させ就労を継続できるよう、多様な階層・分野に対応する研修を、年間を通じて実施したが、今年度は予定していた集合型研修を建設的に検討し、ウェブ会議や動画配信などのオンライン研修に変更したところ受講者から肯定的な評価があり、今後の事業に示唆を得るものとなった。

そして、福祉施設の適切な運営や福祉サービスの向上を図るため、施設利用者からの苦情への相談対応を行った。

また、生活困窮者等対策として、上述の特例貸付を含めた生活福祉資金貸付や生活困窮者自立支援制度支援員研修会を実施した。

さらに、権利擁護関係では、福祉サービス利用の援助等を行う日常生活自立支援事業等を実施するとともに、成年後見制度利用促進を目的とした研修会・市町村検討会等をウェブ会議で開催するなど支援した。

最後に、広域化、甚大化する災害への備えとして、災害ボランティアセンター用資機材ストックヤードを県内9箇所を整備した他、災害時の福祉支援ネットワークの整備のため、災害派遣福祉チーム員の登録、研修を実施し、県及び関係団体との連携強化を図った。

1 支え合う福祉（住民参加と福祉コミュニティづくりの推進）

（1）住民参加によるまちづくりの支援

① 市町村社協への支援

市町村社協を支援するために、事業継続計画（BCP）策定や重層的支援体制整備等の研修会を開催し、市町村社協職員の専門性の向上に努めた。

② はんどちゃんネットワーク運動の推進

住民が支え合い、安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを進めるために、ふれあい・いきいきサロンを通じた地域の活動を応援した他、広報媒体を活用した運動の啓発を行った。

③ 福祉教育・学習の推進

地域社会、学校及び家庭が連携し、子どもたちが自らの生活する地域の課題発見と課題解決のための学びを深め、実践できる環境作りを目指し、教職員や市町村社協職員、関係団体、教育・行政関係者等 54 人の参加により、「福祉教育推進セミナー」を開催し、地域での福祉教育を推進した。

（2）ボランティア・市民活動への支援

① ボランティア・市民活動への参加促進

地域福祉活動の実現・拡充を資することを目的に、市町村社協 27 箇所、ボランティア・市民活動団体 13 箇所に助成を行った。

② 福島県からの県内避難者への支援

原発事故等により福島県から県内に避難している方を支援するため、復興支援員 3 人が福島県駐在員と連携して、避難者宅 22 世帯を訪問、135 件架電して情報提供や相談支援を行った（面談世帯 21 世帯、面談者数 33 人、架電により通話した世帯 130 件）。

（3）はつらつと社会参加できる環境づくり

① 茨城県健康福祉祭（県版ねりんピック）開催事業

「第 33 回全国健康福祉祭ぎふ大会」が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、「いばらきねりんスポーツ大会」及び「わくわく美術展」の開催を中止したが、世代間の交流を目的とした児童による「ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール」（応募 2,141 点、入賞 36 点）については実施した（ただし、表彰式及び展示については、県独自の緊急事態宣言により中止となった。）。

② 元気シニア地域貢献事業

高齢者の生きがい・健康づくりの推進と地域の活性化を図るため、様々な特技を持った高齢者を、茨城シニアマスター（292 個人・団体）に登録し、地域活動に活用（67 件）することで高齢者のボランティア活動等への参加を支援した。

2 安心して利用できる福祉（福祉サービス利用者への支援）

（1）日常生活自立支援事業の充実

市町村社協と連携して、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など、判断能力の不十分な方（利用者 1,047 人）に対する福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等の支援を行った。

（2）児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業

児童養護施設等を退所した者で、就職や大学等へ進学したものに対し、家賃支援費等の貸付け（22 人）を行い、円滑な自立を支援した。

（3）苦情解決事業の推進

福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適切に解決し、併せて日常生活自立支援事業の適正な運営を確保するため、運営適正化委員会において苦情・相談（172 件）に関する助言・調整と、日常生活自立支援事業の契約内容の審議を行うとともに、事業実施状況調査及び県内 11 市町村社協の訪問調査を行った。

（4）効果的な情報発信と提供

広報誌「いばらきの社会福祉」やホームページ、Facebook ページなどを活用し、迅速に福祉情報を提供することで、県民への福祉の理解と啓発に努めた。

（5）低所得世帯等の自立支援

低所得者・障害者・高齢者世帯等に対し、149 件の生活福祉資金の貸付けを行い、経済的自立と生活意欲の助長を図り、安定した生活を送れるよう支援した。

また、生活困窮者自立支援法との連携を図るために、自立相談支援機関担当者と生活福祉資金貸付事業担当者を集めた連携会議を開催した。

なお、貸付金の償還に当たっては、債務者宅への個別訪問（216 件）を行い、債務者の生活状況の把握や個別の実情に応じた対応に努めることで、適切な債権回収と債務者の生活の安定を図った。

3 人を育て、共に歩む福祉（社会福祉事業の充実・活性化への支援）

（1）福祉人材の確保と就労の促進

① 福祉人材無料職業紹介事業の実施

社会福祉事業所への就職希望者に対し、社会福祉法人等からの求人情報を提供するとともに、就業の相談や就職支援に努めた（事業所への紹介 91 件、就職採用 60 件）。

また、「福祉の仕事総合フェア～就職ガイダンス～」をオンラインで開催した。

② 介護支援専門員実務研修受講試験の実施

介護保険制度における介護サービス機能の中核的役割を果たす介護支援専門員の養成・確保を図るため、介護支援専門員実務研修受講試験（受験者 850 人）を実施した。

(2) 福祉・介護人材確保及び定着のための支援

① 人材確保・定着バックアップ事業の実施

福祉・介護人材の確保を図るため、「福祉・介護就職相談会」を2箇所のハローワークにおいて延べ10回（相談件数12件）実施し、求職者・求人事業所の個別の相談支援を行った。

また、若年層や求職者を対象に福祉の仕事の楽しさや魅力を伝えることを目的に、福祉の仕事の内容や魅力を伝える動画を作成し、YouTube等を通じて広報した。

福祉・介護人材の定着を図るため、職員の資質向上にも取り組んでおり、「介護福祉士受験対策講座」等を実施した。

(3) 修学資金等貸付事業

① 介護福祉士修学資金等貸付事業

県内の介護福祉士等の確保を図り、福祉の増進に資するため、介護福祉士等の資格取得を目指す学生を対象とした修学資金（介護福祉士138人、社会福祉士7人）や、介護の実務経験をもち介護福祉士の資格取得を目指す者を対象とした介護福祉士実務者研修受講資金（150人）等の貸付を行った。

② 保育士修学資金等貸付事業

県内の保育士確保を図るため、保育士の資格取得を目指す学生を対象とした修学資金（425人）、潜在保育士の復職を支援する潜在保育士就職準備金（30人）、未就学児保育料（74人）の貸付け等を行った。

③ 保育・幼児教育人材復職支援事業（保育士分）

潜在保育士の復職を容易にするため、新たに県内の保育所等に就労した未就学児のいる潜在保育士に保育料等の半額を助成した（42人）。

(4) 福祉人材の養成と質の向上

社会福祉事業従事者の専門性の確保と資質の向上を図るため、社会福祉施設及び市町村社協の役職員を対象として、社会福祉事業従事者に必要な知識・技術及び倫理の習得等をめざし研修を実施した（階層別研修8コース、専門研修14コース、の計コース・22研修を実施。2,233人が受講）。

(5) 民間社会福祉施設職員等退職手当支給事業の運営

民間社会福祉施設職員等に対する福利厚生の一環として、退職手当支給制度を運営し（加入者883施設：12,855人）、令和2年度は、1,199人に対して、退職手当金を支給するとともに、安全で適切な資産の運用管理を行った。

(6) 地域包括ケアシステムの推進

市町村における生活支援体制整備事業の円滑な推進を図るため、生活支援コーディネーターなどを対象に生活支援体制整備事業研修会（139人）、生活支援体制整備事業ブロック別担

当者会議（131人）をそれぞれ県内6ブロックで開催した。

（7）施設等職員緊急補充事業の支援

職員が新型コロナウイルスに感染した社会福祉施設に対し、他法人施設からの応援職員の派遣について、各種別との覚書の締結及び派遣職員の登録（99事業所：137人）を行った。

4 切り拓く福祉（新たな課題課題への対応）

（1）生活困窮者自立支援制度への対応

生活困窮者自立支援制度の推進のため、関係機関・団体が主催する研修会等に参加し情報収集をするとともに、市町村社協職員や行政職員等を対象とした研修を開催し事業従事者の資質向上や従事者間のつながり作りを行った。

（2）社会福祉法人との連携による生活課題解決に向けた取組

県社協職員の自主的な勉強会として発足したC I会において、県内の社会福祉法人の「地域における公益的な取組」を推進する『チャレンジキッチン』モデル事業のプレ実施を着手した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により販売の機会を失われた、就労支援事業所の商品をホームページで紹介するほか、生協と連携し販売場所の提供に努めた。

5 前進する県社協（県社協の組織の充実）

（1）法人組織の充実と事務局体制の整備

「第5次茨城県地域福祉活動推進プラン」を総合的かつ計画的に進行するため、評価推進チームによる本年度分の実施項目の進行管理を行った。

（2）茨城県災害福祉支援ネットワークの推進

近年の自然災害等で避難所生活をされる方々を支援するため、福祉専門職等チーム員の募集や養成研修の実施、登録（54人）を行った。

1 会務の運営

(1) 理事会及び監査並びに評議員会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
2. 6. 1	監事監査	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告について 令和元年度一般会計，生活福祉資金会計及び同和対策福祉資金会計収入支出決算について 	県総合福祉会館	7人
2. 6. 10	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告について 令和元年度一般会計・生活福祉資金会計・同和対策福祉資金会計収入支出決算について 令和2年度一般会計・生活福祉資金会計収入支出補正予算について 理事候補者の推薦について 評議員候補者の推薦について 会計監査人の報酬について 令和2年度第1回評議員会（定時評議員会）の開催について 	(決議の省略)	26人
2. 6. 25	第1回評議員会（定時評議員会）	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告について 令和元年度一般会計・生活福祉資金会計・同和対策福祉資金会計収入支出決算について 令和2年度一般会計・生活福祉資金会計収入支出補正予算について 理事の選任について 	(決議の省略)	44人
2. 7. 1	第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"> 副会長の選定について 常務理事の選定について 生活福祉資金貸付規程の一部改正について 	県総合福祉会館	35人
2. 11. 17	定期監査	<ul style="list-style-type: none"> 内部監査報告 監査（令和2年度4月から9月までの事業進捗について） 令和元年度決算監査時意見への対応状況 	県総合福祉会館	8人
2. 11. 20	定期監査	<ul style="list-style-type: none"> 内部監査報告 令和元年度決算監査時意見への対応状況 	県総合福祉会館	5人
2. 12. 11	第3回理事会	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度一般会計・生活福祉資金会計収入支出補正予算について 諸規程の一部改正について 介護支援専門員関係事業積立金の取崩しについて 評議員候補者の推薦について 令和2年度第2回評議員会の開催について 	ホテル レイクビュー水戸	30人
2. 12. 22	第2回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度一般会計・生活福祉資金会計収入支出補正予算について 	(決議の省略)	44人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
3. 3. 15	第4回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度一般会計・生活福祉資金会計収入支出補正予算について ・令和3年度事業計画について ・令和3年度一般会計・生活福祉資金会計収入支出予算について ・定款の変更について ・諸規程の制定及び一部改正について ・理事候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会委員の選任について ・令和2年度第3回評議員会の開催について 	ホテル レイクビュー水戸	27人
3. 3. 24	第3回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度一般会計・生活福祉資金会計収入支出補正予算について ・令和3年度事業計画について ・令和3年度一般会計・生活福祉資金会計収入支出予算について ・定款の変更について ・理事の選任について 	(決議の省略)	44人

(2) 評議員選任・解任委員会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
2. 6. 12	第1回評議員選任・解任委員会	・評議員の選任について	(決議の省略)	5人
2. 12. 14	第2回評議員選任・解任委員会	・評議員の選任について	(決議の省略)	5人

2 委員会の開催

(1) 総合企画委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
2. 5. 22	第1回総合企画委員会	・「第5次茨城県地域福祉活動推進プラン」の進行管理について	(書面)	15人

(2) 茨城県ボランティアセンター運営委員会等

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
2. 7. 15	第1回茨城県ボランティアセンター運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度茨城県ボランティアセンター事業計画について ・茨城県ボランティア基金助成事業の応募状況、審査方法について ・委員長・副委員長選任について 	(書面)	14人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
2. 7. 29	第2回茨城県ボランティアセンター運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回茨城県ボランティアセンター運営委員会の文書審議結果報告について ・茨城県ボランティア・市民活動推進事業費助成について ・茨城県市町村社協ボランティア・市民活動促進事業費助成について 	県総合福祉会館	11人
3. 1. 27	第3回茨城県ボランティアセンター運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県ボランティア基金助成事業の見直しについて 	県総合福祉会館 （対面及びオンライン）	8人
3. 2. 25	第4回茨城県ボランティアセンター運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県ボランティア基金助成事業の見直しについて 	県総合福祉会館 （対面及びオンライン）	8人
3. 3. 25	第5回茨城県ボランティアセンター運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度茨城県ボランティアセンター事業の実施状況について ・令和3年度茨城県ボランティアセンター事業（案）について ・茨城県ボランティア基金助成事業の見直しについて 	県総合福祉会館 （対面及びオンライン）	8人

（3）茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度運営委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
2. 6. 17	茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度第1回運営委員会	審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・新規法人の新施設設契約について ・契約解除について ・掛金回収サービスの変更について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業実績及び収入支出決算について ・既契約法人の新施設設契約について 	県総合福祉会館	8人
3. 2. 26	茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度第2回運営委員会	審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について ・退職手当支給制度規程施行細則の一部改正（案）について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・既契約法人の新施設設契約について ・退職手当支給制度財政検証について 	水戸京成ホテル	8人

(4) 茨城わくわくセンター運営委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
2. 7. 2	茨城わくわくセンター運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度茨城わくわくセンター事業報告及び決算について 令和2年度茨城わくわくセンター事業計画及び予算について 第5次茨城県地域活動推進プランの進捗について 	(書面)	12人

(5) 介護福祉士修学資金等貸付制度運営委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
2. 9. 18	介護福祉士修学資金等貸付制度運営委員会	協議事項 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度第2期介護福祉士修学資金等貸付者の選考について 	(書面)	5人

(6) 保育士修学資金等貸付制度運営委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
2. 10. 1	保育士修学資金等貸付制度運営委員会	協議事項 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度保育士修学資金貸付者の選考について 令和2年度第1期保育補助者雇上費貸付者の選考について 	(書面)	5人
3. 3. 10		協議事項 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度第2期保育補助者雇上費貸付者の選考について 	(書面)	5人

(7) 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付制度運営委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
2. 6. 15	児童養護施設退所者等自立支援資金貸付制度運営委員会	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度までの貸付実績について 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度第1期貸付者の選考について 	県総合福祉会館	10人
2. 9. 14		協議事項 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度第2期貸付者の選考について 	(書面)	6人

3 社会福祉大会の開催

(1) 茨城県社会福祉大会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
2. 7. 30	大会運営委員会	・第70回茨城県社会福祉大会について	県総合福祉会館	28人
2. 7. 30	顕彰審査委員会	・第70回茨城県社会福祉大会における本会会長表彰候補者の審査について ・第70回茨城県社会福祉大会における本会会長が感謝の意を表する者について	県総合福祉会館	24人
第70回茨城県社会福祉大会		・10月に開催を予定していた茨城県社会福祉大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取り組みが強く求められ、中止とした。また、当日大会の席上での顕彰を予定していた667個人・団体については、市町村社協を通じて賞状等を送付した。		

4 広報・啓発

(1) 広報誌「いばらきの社会福祉」発行

・1回あたり7,000部を4回発行（No.318～No.321）し、会員のほか、広く配付した。

発行	特集	地域福祉活動レポート
6月号 (6/25)	新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、生活資金でお悩みの皆さま	石塚サン・トラベル（水戸市） 「ボランティアバス運行で紡いだ心の糸」
9月号 (9/25)	令和元年度事業実績報告・決算 令和2年度事業計画・予算	一般社団法人ふうあいねっと（水戸市） 「決して風化させない、その気持ちがつなぐ心と心の絆」
1月号 (1/5)	コロナ禍における茨城県社協の取り組み	就労支援事業所 ビストロ・ラ・ポルト・アミ（水戸市） 「レストラン就労支援と新しい支援のカタチ」
3月号 (3/25)	成年後見制度利用促進 成年後見制度をもっと利用しやすいかたちに	取手中央タウン コミュニティショップひだまり（取手市） 「住民が自らの手で切り開く憩いの場」

・特別号を538,540部作成し、各市町村社協を通じて各世帯に配付、回覧した。

発行	掲載内容
特別号 (10/1)	<ul style="list-style-type: none"> ・支え合う福祉社会づくり（ニュースポーツの普及、茨城シニアマスター 等） ・安心して利用できる福祉（日常生活自立支援、生活福祉資金、運営適正化委員会 等） ・福祉の職場を目指す人を応援（福祉人材センター、介護福祉士修学資金等貸付制度 等） ・ボランティア活動を応援（福祉体験用機材の貸出 等） ・茨城県総合福祉会館のご利用について（新型コロナウイルス感染症予防）

(2) ホームページ及びフェイスブックの運用

・ホームページ

訪問数	閲覧の多かった記事（上位5件）
251,267回	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金の特例貸付に関するお知らせ ・介護支援専門員実務研修受講試験 ・研修システム ・福祉の仕事総合フェアオンライン ・新型コロナウイルスに負けない！「福祉施設の商品を買って応援！キャンペーン」

・フェイスブック

ページいいね数	閲覧の多かった記事（上位5件）
1,384回	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における資器材の運搬に関する協定書の締結 ・就労支援事業所等応援事業 ・マスクを寄贈いただきました ・「ひとり親世帯へのお米配布会」が行われます。 ・セブン-イレブン・ジャパン様から商品の寄贈をいただきました。

5 第5次茨城県地域福祉活動推進プランの進行管理

(1) 評価推進チームの設置及び開催

役職員を構成員とする評価推進チームを設置して、「第5次茨城県地域福祉活動推進プラン」の令和2年度実施事業について、実施項目ごとの評価を行い、課題整理、対応策、今後の事業の方向性を示した。

開催日：3月19日

6 総合福祉会館の運営

(1) 総合福祉会館の管理運営に関する業務

茨城県総合福祉会館の適正かつ効率的な管理運営に努めた。

なお、令和3年3月末をもって指定管理業務を終了した。

① サービスの向上

サービス向上を図るため、月3回程度、主催者および利用者に対し、アンケートを実施した。

また、総合福祉会館ホームページにおいて、貸室の空室状況、催事情報及び駐車場混雑予測等に関する情報を随時更新し、利用者への情報提供を行い、新型コロナウイルス感染症予防のための利用案内や「いばらきアマビエちゃん」登録バナーの設置をした。さらに、1階県民サロン（ロビー）付近で利用可能としている公衆無線LANを活用したデジタルサイネージの運用を開始し、1階エレベーター前にて催事情報案内を行った。

② 総合福祉会館入居団体等連絡会の開催

新型コロナウイルス感染症予防のため、書面協議により実施。

内容：令和元年度施設の利用状況、修繕箇所等の報告

新型コロナウイルス感染症蔓延予防のための取り組み 等

③ 施設利用状況

ア 施設利用状況（年間利用可能日数359日）

利用状況	利用団体数（貸出件数）			貸出 日数	利用 人数	使用 回数	稼働率 (%)
	福祉	一般	合計				
会議室等							
コミュニティホール	38	39	77	71	4,853	128	11.9
楽屋	50	127	177	159	1,226	247	22.9
大研修室	147	69	216	190	6,474	389	36.1
中研修室	152	117	269	226	3,886	403	37.4
小研修室A	147	170	317	230	2,927	431	40.0
小研修室B	59	144	203	171	857	259	24.0
多目的ホール	97	156	253	205	4,853	364	33.8
高齢者研修室	31	103	134	119	1,563	177	16.4
ギャラリー	26	23	49	49	1,041	49	13.6
その他					2,191		
合計	747	948	1,695	1,420	29,871	2,447	27.3

イ 使用料徴収状況

(単位：円)

項目	福祉	一般	合計額
施設使用料	1,528,540	4,649,740	6,178,280
設備使用料	951,810	1,422,990	2,374,800
合計	2,480,350	6,072,730	8,553,080

④ 防災訓練

新型コロナウイルス感染症の影響により書面または縮小して次のとおり実施した。

名称	期日	内容	参加者数
第1回防火管理連絡会	2. 5	・消防計画の承認 ・訓練等日程案内 ほか	33 団体 (書面)
第2回防火管理連絡会	2. 9. 23	・総合消防訓練に関する説明 ほか	23 団体
総合消防訓練	2. 10. 5	・通報連絡, 初期消火, 報告, 消火器訓練 ※感染症対策のため自衛消防隊本部隊, 地区隊長及び班長のみの参加とした。	30 人

⑤ 施設および附属施設の維持管理に関する業務

18 業務について委託契約を締結し、施設の維持管理に努めた。

7 日常生活自立支援事業の実施

(1) 会議・研修会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
2. 9. 11 3. 1. 8	契約締結審査会	・福祉サービス利用援助契約の締結能力判定審査, 解約審査 ・困難対応ケース等の相談 ・成年後見制度との併用について等	(書面)	
3. 3. 12			県総合福祉会館 (対面)	延 10 人

(2) 会議、研修への講師派遣

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
3. 2. 12 2. 17 2. 25 2. 25	日常生活自立支援事業実施状況調査	・事業実施状況についてオンラインでの調査を実施 ・通帳等の預かり状況, 記録物等の管理状況を聞き取り調査	銚田市社協 行方市社協 笠間市社協 茨城町社協 (オンライン)	延 17 人
3. 3. 1 3. 4 3. 4 3. 9 3. 11 3. 17 3. 17	日常生活自立支援事業実施状況訪問調査	・事業実施状況について対面での調査を実施 ・通帳等の預かり状況, 記録物等の現物を確認	大子町社協 那珂市社協 常陸大宮市社協 城里町社協 大洗町社協 潮来市社協 龍ヶ崎市社協	延 35 人

(3) 福祉サービス利用援助契約締結利用者数 1,047 人 (うち生活保護受給者数 430 人)

認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計
474	206	320	47	1,047

(4) 日常生活自立支援事業基幹的社協 全市町村 (44) 社協実施

委託先	利用者数	委託先	利用者数	委託先	利用者数
水戸市社協	168	つくば市社協	30	つくばみらい市社協	16
日立市社協	24	ひたちなか市社協	27	小美玉市社協	31
土浦市社協	26	鹿嶋市社協	35	茨城町社協	16
古河市社協	23	潮来市社協	22	大洗町社協	9
石岡市社協	5	守谷市社協	30	城里町社協	5
結城市社協	9	常陸大宮市社協	4	東海村社協	28
龍ヶ崎市社協	19	那珂市社協	20	大子町社協	19
下妻市社協	23	筑西市社協	33	美浦村社協	18
常総市社協	49	坂東市社協	15	阿見町社協	26
常陸太田市社協	21	稲敷市社協	26	河内町社協	3
高萩市社協	5	かすみがうら市社協	7	八千代町社協	1
北茨城市社協	39	桜川市社協	1	五霞町社協	4
笠間市社協	66	神栖市社協	30	境町社協	19
取手市社協	33	行方市社協	8	利根町社協	8
牛久市社協	32	鉾田市社協	14		

(5) 関係機関との連携

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
2. 7. 31	北関東3県社協合同会議	・日常生活自立支援事業情報交換会	とちぎ福祉プラザ (対面)	本会から1人

8 成年後見制度の推進

(1) 会議・研修会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要	会場 (開催方法)	参加者
2. 9. 25	成年後見制度 新任担当者研修会	成年後見制度の基礎知識や成年後見制度 利用促進法等について、市町村社協・行政の 新任担当者を対象とした研修会。	(オンライン)	50人
【第1回】 2. 10. 16 ～ 11. 6	成年後見制度利用 促進市町村個別検 討会	中核機関設置や地域連携ネットワーク構 築について、広域実施を視野に入れながら、 体制整備をどのように進めていくかについ て、5地域にて検討会を実施。第1回は自治 体担当者中心。第2回は自治体課長級職員 も参加。水戸家裁オブザーバー参加。 《水戸家裁本庁》 常陸太田市、常陸大宮市、大子町 《日立支部》 日立市、高萩市、北茨城市 《龍ヶ崎支部》 稲敷市、河内町、利根町、守谷市 《麻生支部》 鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市 《下妻支部》 古河市、結城市、坂東市、八千代町、五霞 町、境町	(オンライン)	《本庁》 第1回 13人 第2回 15人 《日立支部》 第1回 11人 第2回 16人 《龍ヶ崎支部》 第1回 14人 第2回 19人 《麻生支部》 第1回 17人 第2回 28人 《下妻支部》 第1回 21人 第2回 36人

実施時期	事業・会議名	事業概要	会場 (開催方法)	参加者
3. 2. 26	成年後見制度研修会	中核機関や地域連携ネットワークの構築について、実際の業務について等、実践者から報告。 また、成年後見の申立てのポイントについて、様式改定を踏まえ講義。	(オンライン)	141人
3. 3. 8	法人後見実施団体連絡会	県内で法人後見事業を実施している団体(市町村社協およびNPO法人)を対象に情報交換・意見交換を通して団体間のつながりを作ることを目的に実施。	(オンライン)	19人

(2) 関係機関との連携

- ・水戸家庭裁判所情報交換会(水戸家裁, 県, 取手市高齢福祉課, 県社協)(年6回)
- ・水戸家庭裁判所主催家事関係機関連絡協議会への参加(3. 1. 28)

(3) 市町村社協支援

- ・ひたちなか市社協法人後見業務運営委員会への参加(年2回)(2. 10. 20, 3. 3. 22)

(4) 会議・研修会への参加

- ・特定非営利活動法人あすなろの郷手をつなぐ育成会法人後見事業の運営に関する説明会(2. 9. 24)
- ・成年後見制度利用促進体制整備都道府県担当者研修会 全社協(2. 10. 7)
- ・守谷市権利擁護関係機関情報交換会(2. 10. 8)

9 生活福祉資金等貸付事業

(1) 生活福祉資金運営委員会の開催

- ① 開催回数 9回(4・5・6・8・11・12・1・2・3月開催) ※1・2月書面開催

② 審査等状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
貸付審査	4件	2件	3件	0件	0件	0件	0件	4件	1件	1件	2件	1件
貸付金償還免除審査	1件	0件	0件	0件	3件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	0件
延滞利子償還免除審査	0件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件
償還猶予審査	0件	0件	0件	0件	3件	0件	0件	1件	1件	0件	0件	1件
法的措置審査	0件	0件	0件	0件	0件	0件						

(2) 生活福祉資金申込・貸付決定状況

資金種類		申 込		決 定	
		件数	金額	件数	金額
総合支援資金	生活支援費	24件	9,079,000円	18件	6,363,000円
	住宅入居費	0件	0円	0件	0円
	一時生活再建費	3件	210,343円	3件	210,343円
福祉資金	福祉費	27件	14,959,000円	20件	6,739,000円
	緊急小口資金	61件	5,942,000円	54件	5,242,000円
教育支援資金	教育支援費	21件	34,019,000円	20件	33,599,000円
	就学支度費	31件	10,648,000円	30件	10,268,000円

資金種類	申 込		決 定	
	件数	金 額	件数	金 額
不動産担保型生活資金	0 件	0 円	0 件	0 円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	4 件	35,049,000 円	4 件	35,049,000 円
合 計	171 件	109,906,343 円	149 件	97,470,343 円

※ 新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付の実績は含まない。

※ 福祉資金（緊急小口資金）貸付決定には、令和元年度に申込があり令和2年4月に決定した2件200,000円を含む。

※ 教育支援資金（就学支度費）貸付決定には、令和元年度に申込があり令和2年4月に決定した1件300,000円を含む。

(3) 生活福祉資金貸付金償還免除状況

件 数	金 額			合 計
	元金	利子	延滞利子	
5 件	740,213 円	16,269 円	361,944 円	1,118,426 円

(4) 生活福祉資金貸付金延滞利子償還免除状況

件 数	金 額	合 計
	延滞利子	
3 件	1,137,130 円	1,137,130 円

(5) 債務者への個別訪問状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2件	14件	14件	23件	48件	24件	40件	24件	14件	1件	1件	11件	216件

(6) 新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付

資金種類	申込件数	申込金額	貸付決定件数	貸付決定金額
緊急小口資金（特例貸付）	22,870 件	4,330,785,000 円	21,682 件	4,108,335,000 円
市町村社協受付分	22,051 件	4,178,725,000 円	20,886 件	3,960,575,000 円
郵便局受付分	183 件	35,000,000 円	173 件	33,100,000 円
労働金庫受付分	636 件	117,060,000 円	623 件	114,660,000 円
総合支援資金（特例貸付）	26,859 件	13,858,329,000 円	23,572 件	12,158,429,000 円
生活支援費（初回貸付）	18,200 件	9,352,517,000 円	16,817 件	8,646,977,000 円
生活支援費（延長貸付）	4,745 件	2,450,412,000 円	4,349 件	2,247,632,000 円
生活支援費（再貸付）	3,914 件	2,055,400,000 円	2,406 件	1,263,820,000 円
合 計	49,729 件	18,189,114,000 円	45,254 件	16,266,764,000 円

10 生活困窮者自立支援法への対応

(1) 会議・研修会への開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場 （開催方法）	参加者
3. 1. 19 ～21	生活困窮者自立支援 制度支援員研修	・生活困窮者自立支援制度基本理念等 （講義） ・グループワーク	（オンライン）	37 人

(2) 会議・研修会の参加

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
2.12. 1	県央地区子ども食堂交流会	・コロナ禍での子ども食堂実施に関する実践報告 ・グループワーク	水戸市社協	本会から 1人

1 1 県内避難者への支援

① 戸別訪問・架電

訪問世帯件数 22件 / 面談世帯件数 21件 / 面談者数 33人 /
架電世帯件数 135件（うち通話世帯件数 130件）

② 避難者交流会等への参加

・福島県双葉郡交流会 2020 ふうあいねっと主催（11.20 本会から3人参加）

③ 避難者支援に関わる団体等との会議・情報交換

・ふうあいねっと総会（5.18 本会から3人参加・オンライン）

④ 参加した研修・情報交換他

- ・直接対面を伴わない避難者支援の実践についての研修会（5.19 本会から3人参加）
- ・復興支援員情報交換会 東京復興支援員主催（7.29 本会から3人参加・オンライン）
- ・福島県視察研修（8.18 本会から3人参加）
- ・復興支援員合同勉強会 東京復興支援員主催（9.15 本会から3人参加・オンライン）
- ・オンライン会議に関する研修会 茨城県社会福祉協議会・茨城社会福祉協議会職員連絡協議会主催（11/6 本会から3人参加）
- ・第1回復興支援員研修 JCN 主催（11.12 本会から3人参加・オンライン）
- ・第2回復興支援員研修 JCN 主催（12.9 本会から3人参加・オンライン）

⑤ ふるさとふくしま作品展（オンライン）

避難者の交流を目的として集合型イベントを企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで実施した。

1 2 福祉施設等との連携による生活課題解決

(1) CI会推進G打合せ 7回

- ・『チャレンジキッチン』モデル事業実施に向けた打合せ・法人支援に関する情報共有
- ・就労支援事業所応援事業に関する打合せ
- ・その他

(2) 『チャレンジキッチン』モデル事業の実施

プレ実施及び本格実施を開始する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、今年度については本格実施の開始を延期した。

【モデル事業取組法人】

社会福祉法人亮和会（古河市）

社会福祉法人征峯会（筑西市）

プレ実施8回 ※法人関係者のみで感染対策を行い実施した。

(3) 就労支援事業所応援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により就労支援事業所の商品販売機会が失われたことから、各事業の商品を本会ホームページで紹介するほか、生協と連携し販売場所を提供した。

- ・参加事業所数 28事業所（ホームページに商品情報を掲載）
- ・生協店舗における販売会の開催 1回 1事業所が参加

- ・生協事務所における販売会の開催 8回 延べ15事業所

(4) その他、目的達成のために参加した会議・研修等

実施時期	事業概要 (会議事項)	会場	参加者
2. 12. 17	令和2年度県西子ども食堂ネットワーク会合	筑西市総合福祉センター	本会から2人

(5) 寄附付き自動販売機の対応

(寄附付き自販機設置事業所：社会福祉法人博慈会，東筑波ユートピア，社会福祉法人絢会)

- ・県内3か所に設置された寄附付き自動販売機の売上金の一部を，業者を通じて本会に寄附いただいた。

1.3 福祉人材センターの運営

(1) 福祉人材センター運営事業

① 社会福祉事業従事者の確保に資する事業

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
3. 2. 10 ～3. 10	福祉の仕事総合フェアオンライン	特設サイトを設置し，福祉職場への就職希望者を対象に，次の情報提供等を行った。 ・福祉施設・事業所の求人情報 ・福祉施設・事業所のPR動画 ・福祉・介護の仕事のPR動画	(オンライン) [特設サイト]	アクセス数 1,172件
3. 2. 22	就職ガイダンス	学生や福祉職場への就職希望者を対象に，就職活動にあたって役立つ知識の習得を目的とした講座を開催した。	(オンライン)	16人
3. 2. 25	茨城キリスト教大学 業界研究会 (福祉人材センターサテライト)	福祉施設に就労を希望する学生に福祉人材センターについて説明するとともに，求職登録等の案内を行った。	(オンライン)	33人
通年	福祉人材無料職業紹介事業	インターネットを活用し，福祉の職場への就労斡旋と求人事業所への人材確保を推進した。	県総合福祉会館	別表参照
年12回	福祉人材情報誌の作成・発行	求人情報の提供を図るため福祉人材情報誌『うえるわーく』を作成し配布した。1回400部発行 (有効求職者等)		
年12回	求職登録者一覧の作成・発行	求職者情報の提供を図るため，「求職登録者一覧」を作成し配信した。(有効求人事業所等)		

② 福祉人材センター利用状況集計表（求職状況実績）

項目	内 容	求職登 録者数	項目	内 容	求職登 録者数
性 別	男	186	分野別 (複数 回答)	高齢者	314
	女	267		障害者	171
	合計	453		障害者(身体)	8
年齢別	10歳代	3		障害者(知的)	35
	20歳代	64		障害者(精神)	41
	30歳代	55		児童	133
	40歳代	144		社会福祉協議会(現業員含む)	133
	50歳代	129		その他福祉	59
	60歳～64歳	32		福祉・介護以外	34
	65歳代以上	26		合計	928
	合計	453	資格別 (複数 回答)	介護福祉士	138
勤 務 形態別	正職員	267		社会福祉士	80
	非正規職員	137		精神保健福祉士	30
	不問	49		保育士	34
	合計	453		社会福祉主事	74
地域別 (複数 回答)	県北地区	164		児童指導員	19
	県央地区	293		介護支援専門員	46
	県南地区	132		ヘルパー(1・2・3級)	200
	県西地区	36		セラピスト(OT・PT)	1
	鹿行地区	36		看護師・准看護師・保健師	8
	合計	661		管理栄養士・栄養士	8
				調理師	8
		教員(幼稚園・小・中学校・高校・養護教諭)		40	
		不問・その他		73	
		合計	759		

項目	内 容	求職登 録者数
職種別 (複数 回答)	介護職	252
	相談・支援・指導員	185
	介護支援専門員	39
	ホームヘルパー	48
	保育士	47
	社会福祉協議会専門員	49
	セラピスト(OT・PT)	3
	看護職	7
	事務職	97
	栄養士	2
	調理員	16
	その他	112
	合計	857

③ 福祉人材センター利用状況集計表（求人数実績）

項目	内 容	件数	人数	項目	内 容	件数	人数	
分野別	高齢者	1,492	2,654	学歴別 (最終学歴)	大学卒	29	45	
	障害者	146	294		短大卒	40	55	
	障害者(身体)	27	108		専門学校卒	101	197	
	障害者(知的)	73	167		高校卒	453	853	
	障害者(精神)	35	52		不問	1,487	2,750	
	児童(保育所・児童養護・障害児施設等)	256	510		合計	2,110	3,900	
	社会福祉協議会(現業員含む)	44	47		資格別 (複数回答)	介護福祉士	625	1,122
	その他	37	68			社会福祉士	161	228
合計	2,110	3,900	精神保健福祉士	40		57		
職種別	介護職	798	1,703	保育士		264	527	
	相談・支援・指導員	307	567	社会福祉主事		103	171	
	介護支援専門員	170	209	児童指導員		28	58	
	ホームヘルパー	103	258	介護支援専門員		273	368	
	保育士	177	372	ヘルパー(1・2・3級)		764	1,577	
	社会福祉協議会専門員	6	7	セラピスト(OT・PT)		42	50	
	セラピスト(OT・PT)	18	20	看護師・准看護師・保健師		494	763	
	看護職	254	383	管理栄養士・栄養士		56	66	
	事務職	60	63	調理師		17	20	
	栄養士・調理員	89	114	教員(幼稚園・小・中・高校・養護教諭)		100	188	
	その他	128	204	不問	644	1,654		
	合計	2,110	3,900	その他	61	99		
	勤務形態別	正職員	1,148	2,118	合計	3,672	6,948	
非正職員		962	1,782	所在地別	県北	476	751	
合計		2,110	3,900		県央	870	1,526	
			県南		517	1,105		
			県西		146	349		
			鹿行		60	114		
			不問		41	55		
			合計		2,110	3,900		

④ 福祉人材センター利用状況集計表（紹介・採用数実績）

項目	内 容	紹介数	採用数	項目	内 容	紹介数	採用数
分野別	高齢者	49	36	職種別	介護職	31	22
	障害者	6	2		相談・支援・指導員	21	12
	障害者(身体)	3	2		介護支援専門員	5	4
	障害者(知的)	6	3		ホームヘルパー	2	2
	障害者(精神)	5	6		保育士	1	1
	児童	10	6		社会福祉協議会専門員	8	0
	社会福祉協議会(現業員含む)	23	12		セラピスト(OT・PT)	0	0
	その他	3	1		看護職	0	0
合計	105	68	事務職		18	13	
勤務形態別	正職員	58	25		栄養士・調理員	1	0
	非正職員	33	35	その他	4	6	
	合計	91	60	合計	91	60	

※ 1事業所で複数の分野を運営していることがあるため、分野別合計は、勤務形態別合計及び職種別合計と一致しない。

⑤ 福祉人材センター利用状況（来所した方で、求職相談者を除く）

求人票の閲覧者数 86 人 (R2.4~R3.3)

⑥ 委員会等

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
3. 3. 12	福祉人材センター 運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度事業の執行状況について 正副委員長の選出について 令和3年度の事業計画について 	（書面審議）	15人 （回答数）

⑦ 職員研修

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
3. 2. 2	ゼロから学ぶ外国人 介護人材雇用セミナー	<ul style="list-style-type: none"> 外国人材介護人材活用の現状と今後の見込み 雇用に関する注意点 望ましい受け入れ態勢づくり 国籍・文化ごとの特性の違い 	（オンライン）	8人
3. 2. 16	成果事例発表会	<ul style="list-style-type: none"> 事業と並行した働き方改革の取り組みと人材確保の実現 ICTを活用した生産性向上による社員のための働き方改革 	（オンライン）	1人
3. 2. 22	志望動機と自己PR の作り方セミナー	<ul style="list-style-type: none"> 自己PRの作り方 志望動機の骨格 エントリーシートの作り方 	（オンライン）	8人

（*茨城県社会福祉協議会無料職業紹介所（茨城県福祉人材センター）職業紹介責任者が実施する「従事者に対する職業紹介の適正な遂行に必要な教育」の一環として職員の参加を促した。）

⑧ 関係機関・団体との連携

実施時期	事業名	主催	実施場所	相談者	本会参加
2. 5. 21 ～5. 29	県立高等学校・県立中等教育学校進路指導主事会議	茨城県	動画配信	—	1人
2. 10. 26 10. 26 10. 28 11. 5	チャレンジいばらき就職面接会 （大好きいばらき就職面接会）	茨城県	ホテルロフト 筑波 （10/20, 11/5） ホテルイクスピア水戸 （10/26, 10/28）	4人 13人 4人 8人	2人 2人 2人 2人
2. 9. 11 10. 27 10. 29 11. 9 11. 10 12. 3	元気いばらき就職面接会	茨城県	水戸合同庁舎 鹿嶋勤労文化会館 つくば市役所 日立ビックセンター 日立ビックセンター 筑西合同庁舎	2人 3人 5人 0人 5人 2人	1人 1人 1人 1人 1人 1人
2. 10. 28	福祉人材確保対策幹事会	茨城県	県庁	—	1人
2. 12. 16	福祉人材確保対策検討会	茨城県	県庁	—	1人
3. 2. 16	成果事例発表会	茨城県	オンライン	—	1人
書面開催	茨城県地域訓練協議会並びに茨城県 地域ジョブ・カード運営本部会議	茨城労働局	—	—	—

14 福祉・介護人材確保及び定着のための支援

(1) 福祉人材確保・定着支援事業

① 「中・高等学校福祉キャラバン隊」の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により学校訪問は実施を見合わせ、代替として福祉の仕事の啓発動画を作成した。

- ・内容 福祉の仕事に就いたきっかけ、やりがい等
- ・出演 現任介護職員（ふくし“きらり人。”）
- ・広報 動画をYouTubeに掲載するほか、チラシを作成し、県内高等学校等に配布。

② 職場体験事業の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により実勢を見合わせ、代替としてセミナーを実施した。

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
3. 3. 20	知ってる？カイゴのシゴト	学生や福祉職場への就職希望者を対象に、介護の仕事内容や魅力を伝えるセミナーを実施した。	（オンライン）	17人

③ 介護職員初任者研修支援事業の実施

事業概要	対象者
介護関係の資格を有しない方で、介護施設・事業所に従事する者又は従事予定者が、介護職員初任者研修を受講する際に、費用の一部を助成。	91人

④ 地区別就職面接会の開催

【会場型】

新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインで開催。

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
2. 10. 16 ～10. 30	福祉のお仕事フェアオンライン	特設サイトを設置し、福祉職場への就職希望者を対象に、次の情報提供を行った。 ・福祉施設・事業所の求人情報 ・福祉施設・事業所のPR動画 ・福祉・介護の仕事のPR動画	（オンライン）	118人

【ツアー型】

新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見合わせ、代替として福祉の仕事の啓発動画を作成した。

- ・内容 福祉の施設・事業所紹介
- ・出演 現任施設・事業所職員（ふくし“きらり人。”）
- ・広報 動画をYouTubeに掲載するほか、チラシを作成し、県内ハローワーク、市町村等に配布。

⑤ ハローワークにおける福祉の仕事就職相談会の実施

事業概要（会議事項）	ハローワーク	実施回数	参加者
福祉人材センターのキャリア支援専門員が出張相談を行った。	水戸	5回	7人
	土浦	5回	5人

⑥ 「ふくし職働」の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
2. 12. 3	惹きつけるための面接官セミナー	介護施設・事業所を対象に、採用活動にあたって役立つ知識の習得を目的とした講座を開催した。	(オンライン)	20人
3. 2. 2	外国人介護人材活用セミナー			34人
2. 5. 20 ～3. 3. 17	仕事とこころの相談	福祉の仕事に関する相談窓口を設置した。	(電話相談)	計11回 延22人
2. 11. 10 11. 11	出張ふくし職働 (介護入門講座)	ハローワーク土浦と共催で、介護入門講座を開催した。	ハローワーク土浦	13人 10人

⑦ フォローアップ強化事業の実施

事業概要（会議事項）	訪問箇所数等
定着支援アドバイザーが福祉事業所を訪問。福祉人材センターを通じて就職した方と面談を行うなどし、離職防止に努めた。	特別養護老人ホーム等 33箇所

⑧ 介護福祉士受験対策講座の開催

実施時期	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
2. 9. 8 10. 7 10. 29 11. 16 12. 1 12. 23 3. 1. 12	高齢者福祉施設・事業所の現役介護職員のキャリアアップを目的とし、介護福祉士国家試験に向けた受験対策講座を実施。筆記試験対策を行った。	(オンライン)	64人 61人 57人 54人 52人 56人 56人

⑨ 潜在的有資格者等再就職支援事業の実施

事業概要（会議事項）	訪問箇所数等
離職した有資格の介護職を対象に、福祉人材センターへの登録を促し、福祉人材センターから就職活動に有益な情報提供を行っていくことで再就職を円滑に進める。	登録者数 178人

⑩ 職場環境改善セミナーの実施

実施時期	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
2. 11. 27	職員が長く働き続けることができるよう、福祉施設・事業所の経営者及び職員の意識を高めるため、勤務環境改善に関するセミナーを実施した。	(オンライン)	48人

15 福祉人材の養成

(1) 介護支援専門員実務研修受講試験の実施

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場	受験者	合格者
2. 10. 11	介護支援専門員実務研修受講試験	介護支援専門員実務研修を受講する前提として、事前に必要な、保健・医療・福祉に関する専門的知識等を有していることを確認する。	県立水戸商業高校 大成女子高校	850人	148人

(2) 介護支援専門員実務研修の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	修了者
2. 7. 3 ～12. 26	介護支援専門員実務研修	介護支援専門員実務研修受講試験合格者を対象に、実習を含めた介護支援専門員養成研修を行う。	県立健康プラザ、県総合福祉会館及びオンライン	60人

(3) 介護支援専門員運営会議及びワーキング指導者会議の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
2. 6. 5	介護支援専門員 研修ワーキング会議	・実務研修指導日程について ・実務研修指導方法について	県総合福祉会館	6人
2. 8. 19		・実務研修後期日程延期について ・後期日程指導方法について	県総合福祉会館	6人
2. 9. 8		・オンライン研修の実施方法について	福祉人材センター	6人
2. 11. 5		・オンライン研修最終打ち合わせ	(オンライン)	8人

16 はんどちゃん人づくり研修等事業の実施

(1) 茨城県はんどちゃん人づくり研修事業協議会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
3. 2. 15	茨城県はんどちゃん人づくり研修事業協議会（第1回）	・令和2年度社会福祉事業従事者研修事業実績について ・令和3年度社会福祉事業従事者研修事業の基本的考え方について ・令和3年度社会福祉事業従事者研修事業計画案について ・新任職員研修について ・受講料のキャッシュレス化について	(オンライン)	10人

(2) 研修事業の実施

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
2. 5. 26 ～ 6. 19	社会福祉施設等新任職員研修	・福祉制度の動向	(オンライン 録画配信)	281人
2. 6. 5 ～ 6. 30	オンライン会議WEBサービス活用講座	・オンライン会議・研修に参加するためのサービスの種類、特徴、事前に準備するもの Zoomとは (Zoomの基本について)	(オンライン 録画配信)	93人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
2. 6. 29 ～ 7. 31	接遇マナー研修	・ビジネスマナーの基本 挨拶・言葉遣い・電話対応	（オンライン 録画配信）	111 人
2. 7. 8 ～ 8. 4	財務会計スキル活用 研修	・財務諸表の概要 ・財務指標の意味合い	（オンライン 録画配信）	80 人
2. 7. 27 ～ 9. 4	はじめてのリーダー 研修	・リーダー行動（マネジメント）の基本 ・リーダーシップの発揮	（オンライン 録画配信）	148 人
2. 8. 7 ～ 9. 15	社会人基礎力研修	・人生 100 年時代の社会人基礎力 ・前に踏み出す力・考え抜く力・チーム で働くためには	（オンライン 録画配信）	92 人
2. 8. 25	社会福祉施設等看護 職員研修（基礎編） ①②	・施設における感染対策を実践するた めに看護職として必要なこと	県総合福祉会 館	52 人
2. 9. 1 ～10. 23	リスクマネジメント 研修（高齢・障害）	・仕組みで管理すべき現場のリスク ・リスクマネジメントの基礎 ・組織的なマネジメント手法	（オンライン 録画配信）	132 人
2. 9. 10 ～10. 31	論理的思考習得研修	・実践に活かせる論理的思考を身に着 けるロジカルコミュニケーション，三角 ロジック	（オンライン 録画配信）	55 人
2. 9. 24	社会福祉施設等看護 職員研修（基礎編） ③④	・施設における感染対策を実践するた めに看護職として必要なこと	県トラック総 合会館	88 人
2. 10. 2 ～11. 30	資料作成研修	・わかりやすい資料作成のポイント ・内部向け資料，外部向け資料の作り 方	（オンライン 録画配信）	65 人
2. 10. 9 ～12. 4	記録の書き方研修	・記録の意義・意味，記録の目的 ・記録と倫理・何を記録するか	（オンライン 録画配信）	111 人
2. 10. 15	Zoom 体験特別講座	・Zoomに参加する，Zoomの基本機能，注 意点他	（オンライン 録画配信）	40 人
2. 11. 6 ～3. 1. 18	社会福祉施設等中堅 職員研修	・中堅職員に求められていること ・人材育成のポイント	（オンライン 録画配信）	160 人
2. 11. 16 ～3. 1. 12	タイムマネジメント 研修	・時間をいかすタイムマネジメントを学 ぶ ・午前中・昼休み・午後・余暇のタイ ムマネジメント	（オンライン 録画配信）	77 人
2. 11. 18 ～3. 1. 25	福祉現場における事 業継続計画（BCP） 作成研修	・福祉事業所における事業継続計画で めざすもの ・具体的な BCP の策定項目等，風水害 とコロナ対策	（オンライン 録画配信）	79 人
2. 11. 25	社会福祉施設等看護 職員研修（応用編）	・COVID-19 の感染対策	県総合福祉会 館及びオンラ イン	65 人
2. 12. 10 ～3. 2. 8	ファシリテーション 研修	・会議ファシリテーション・入門編 ・会議を進行する 4 つのポイント	（オンライン 録画配信）	98 人
2. 12. 22 ～3. 2. 15	社会福祉施設等給食 担当職員研修	・With Corona 衛生管理の基本を学 ぶ ・新型コロナウイルス感染対策も踏ま えて	（オンライン 録画配信）	103 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
3. 1. 8 ～ 2. 26	社会福祉施設等保育 担当職員研修	・コロナ禍における保育現場でのもやも やの種を解決する	（オンライン 録画配信）	79人
3. 1. 18 ～ 3. 19	決算実務講座	・決算準備作業と決算作業の流れ、決算 整理事項 ・計算書類等の作成後の業務	（オンライン 録画配信）	107人
3. 2. 8 ～ 3. 22	発達障害研修（子ど もの支援編）	・発達障害の理解と支援、生活支援 ・保護者支援と多職種連携の在り方	（オンライン 録画配信）	117人

17 修学資金等貸付事業の実施

（1）介護福祉士修学資金等貸付事業

資金種類	令和2年度	
	貸付実人数	貸付済額
介護福祉士修学資金	138人	111,320,000円
社会福祉士修学資金	7人	3,960,000円
介護福祉士実務者研修受講資金	150人	26,401,958円
離職介護人材再就職準備金	3人	872,193円
計	298人	142,554,151円

※社会福祉士修学資金には、福祉系大学分（4人、2,560,000円を含む）

（2）保育士修学資金等貸付事業

資金種類	令和2年度	
	貸付実人数	貸付済額
保育士修学資金	425人	308,869,100円
未就学児保育料	74人	8,344,685円
潜在保育士就職準備金	30人	9,522,798円
保育補助者雇上費	10人	22,063,924円
計	539人	348,800,507円

（3）児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業

資金種類	令和2年度	
	貸付実人数（延べ人数）	貸付済額
生活支援費	13人	7,500,000円
家賃支援費	15人	5,705,200円
資格取得支援費	7人	1,432,436円
計	22人（35人）	14,637,636円

（4）保育・幼児教育人材復職支援事業（保育士分）

資金種類	令和2年度	
	助成実人数	助成金額
未就学児保育料一部助成金	42人	4,793,575円

18 地域福祉・ボランティアの推進

(1) 市町村社協への支援・援助

① 会議・研修会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場	参加者
2. 8. 21	「災害初動期対応チーム」メンバー養成研修会（一日目）	<ul style="list-style-type: none"> ・基調説明「『災害初動期対策チーム』メンバー養成研修のねらい」 ・講義「新型コロナウイルス禍における、災害ボランティアセンター運営の心構え」 ・講義「災害ボランティアセンターにおける情報発信の重要性」 ・講義「ウイルス感染拡大を防ぐ消毒等」 	アダストリアみとアリーナ	47人
2. 8. 25	事業継続計画(BCP)策定研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「事業継続計画とは」「事業継続計画の検討の仕方」 ・個人演習とグループ演習 	アダストリアみとアリーナ	17人
2. 9. 4	市町村社協専門講座（災害対応編）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大下における災害ボランティアセンター運営の留意点 	アダストリアみとアリーナ	42人
2. 10. 13	「災害初動期対応チーム」メンバー養成研修会（二日目）	<ul style="list-style-type: none"> ・説明「『災害初動期対応チーム』の活動について」 ・講義「社協・行政・NPO等との連携・協働の意義」 ・講義「茨城県内でのつながりを備える力に」 ・シンポジウム「新型コロナウイルス禍の被災地支援を考える」 	県総合福祉会館	46人
2. 10. 16	県内社会福祉協議会新任職員フォローアップ研修	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「地域共生社会と市民協働」～コミュニティ・ソーシャル・ワーカーとしての社協職員の役割～ ・ワーク「社協の仕事とキャリア形成」～社協職員としての一人ひとりの役割を確かめながらこれからを考えます～ 	県総合福祉会館	29人
2. 10. 21	地域福祉推進セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「地域福祉共生社会の実現に向けた包括的支援とこれからの社協活動」 ・シンポジウム「地域、暮らし、生きがいを共に創り、高めあうことのできる社会のために社協だからできること」 	アダストリアみとアリーナ	71人
2. 10. 26	新型コロナウイルス感染対策に関する研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における感染対策で大切なこと 	県総合福祉会館	24人
2. 11. 6	オンライン会議に関する研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン会議の概要理解と導入ポイント 	県総合福祉会館	24人

② 会議・研修会への協力

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場	参加者
3. 2. 23	小美玉市社協在宅福祉サービスセンター事業に係る協力会員研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・講話「コロナ禍における在宅福祉サービスセンターの活動」 	小美玉市四季健康館	本会から1人

③ 生活支援体制整備事業の推進

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
2.10.7	生活支援体制整備事業研修会（県央）	<ul style="list-style-type: none"> ・行政説明 ・状況確認，解説，事例紹介 	（オンライン）	20人
2.10.14	生活支援体制整備事業研修会（稲北）			23人
2.10.14	生活支援体制整備事業研修会（県南）			28人
2.10.20	生活支援体制整備事業研修会（鹿行）			23人
2.10.20	生活支援体制整備事業研修会（県北）			18人
2.10.28	生活支援体制整備事業研修会（県西）			27人
3.1.27	ブロック別担当者会議（県北）			<ul style="list-style-type: none"> ・事例紹介 ・各市町村の取組状況の情報交換
3.2.3	ブロック別担当者会議（県央）	20人		
3.2.9	ブロック別担当者会議（県南）	31人		
3.2.10	ブロック別担当者会議（鹿行）	22人		
3.2.16	ブロック別担当者会議（稲北）	11人		
3.2.17	ブロック別担当者会議（県西）	30人		

・市町村及び協議体等への研修会参加支援（14市町村）

古河市，石岡市，結城市，常陸太田市，取手市，牛久市，鹿嶋市，筑西市，行方市，つくばみらい市，東海村，阿見町，五霞町，境町

④ 調査

<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア体験月間への取組み調査 体験月間（7～8月）における市町村社協等主催の青少年（児童・生徒等）のボランティア活動の実態を市町村社協に調査依頼。県社協でとりまとめて冊子にし，県・市町村社協・関係団体等に配付。 ※ 県内44市町村のうち，7市において19の事業を実施 ・ボランティア把握状況調査 市町村社協で把握・登録しているボランティアの団体数・個人数及び具体的な活動内容の調査を市町村社協に依頼。県社協で取りまとめ，県・市町村社協・関係団体等にメール送信し，ボランティアの実態把握と活動促進等に活用。 ※ボランティア把握団体数3,166団体 把握人数100,178人 ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う市町村社会福祉協議会の対応状況調査（5月） 組織における感染予防対策や，法人の運営状況について取りまとめ，結果を市町村社協に報告した。 ・新型コロナウイルスに関する市町村社会福祉協議会の対応状況調査（9月） 市町村社会福祉協議会が行う各種事業や，住民等が取り組む地域活動等の現状を取りまとめ，結果を市町村社協に報告した。

- ・新型コロナウイルス感染下における住民の経済的困窮等への対応状況調査（1月）
市町村社会福祉協議会が取り組む経済的困窮者に対する支援活動の現状と運営上必要な支援について取りまとめ、結果を市町村社協に報告した。

⑤ 相談事業

主な相談内容 ・役員会運営、会計処理、事業運営、講師紹介、視察先紹介 他

⑥ 助成事業

いばらきコープ生活協同組合からの寄付金を財源に、市町村社会福祉協議会が行うコロナ禍における経済的困窮者（世帯）に対する生活支援のための事業費を助成した。

助成数：35市町村社協 助成額：8,300千円

⑦ 団体への協力

- ・茨城県市町村社会福祉協議会事務局長会への協力
- ・茨城社会福祉協議会職員連絡協議会への協力
- ・茨城県防災ボランティアネットワークへの協力

⑧ 地域福祉活動アドバイザー等事業

- ・地域福祉活動アドバイザー2人を委嘱
- ・ボランティア活動アドバイザー1人を委嘱
- ・防災活動アドバイザー3人を委嘱

本会防災事業への参加と指導

水戸市社協、石岡市社協、土浦市社協、下妻市社協、古河市社協、事務局長会等主催講座への派遣調整

(2) 福祉コミュニティづくり県民運動の推進

① 会議・研修会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
2. 11. 4	第1回はんどちゃん運動推進委員会	・今年度のはんどちゃん運動の取り組みについて ・はんどちゃんネットワーク運動サロン拠点整備・活動拡大応援助成金について ・サロン実態調査について	県総合福祉会館	11人
2. 12. 21	第2回はんどちゃん運動推進委員会	・はんどちゃんネットワーク運動サロン拠点整備・活動拡大応援助成金の審査について ・今後の予定について	県総合福祉会館	7人
3. 3. 8	第3回はんどちゃん運動推進委員会	・サロン実態調査の結果概要について ・コロナ禍におけるサロン活動とはんどちゃんネットワーク運動について	県総合福祉会館	12人

② 広報・啓発

- ・『サロン活動実践事例集』の発行
- ・ふれあい・いきいきサロン活動紹介映像（水戸市社協、土浦市社協、常陸太田市社協、取手市社協、守谷市社協、常陸大宮市社協、つくばみらい市社協、小美玉市社協、東海村社協、大子町社協）の作成
- ・はんどちゃんオリジナルグッズの製作

③ 調査

県内のふれあい・いきいきサロン 1,340 か所を対象に、「サロン活動実態調査」を行い、運営者やサロン参加者、コロナ禍での活動状況を問う 47 の設問に、1,080 か所から回答があった（回答率 80.6%）。

(3) 福祉教育関係事業

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
2.10.29	福祉教育推進セミナー	<ul style="list-style-type: none"> 行政説明「新学習指導要領と福祉教育」 基調講演「子ども・若者の社会参画力の育成」 シンポジウム「子どもたちの地域参加に向けて」 	県市町村会館	54人

(4) 市町村社協との連携

会議・研修会等出席回数	事業概要（会議事項）
75回	市町村社協の組織・活動の強化促進を図るため、事務局体制の整備、地域福祉活動・ボランティア活動の支援・連携を図った。

(6) 関係機関、団体等との連携

会議・研修会等出席回数	事業概要（会議事項）
132回	行政、関係団体、学校等の主催する講座・研修・会議等に本会職員が出席し、連携を図った。

(7) 出前講座

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
2.8.30	いばらき防災大学	・講義「災害とボランティア活動」	結城市民文化センター	本会から 1人
2.10.1	コープくらしの助け合いの会コーディネーター学習会	・講演「コロナ禍での生活支援活動の状況」	いばらきコープ コープ水戸店	本会から 1人

(8) 委員会等への参加

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
2.7.28	第1回取手市社会福祉協議会運営委員会	・第二次地域福祉活動計画「2020年度実行計画」の内容及び進捗状況について	取手市福祉交流センター	本会から 1人
2.8.8	県生涯学習・社会教育研究会第1回運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度事業について 会員数等について 運営委員の事業分担について 	県水戸生涯学習センター	本会から 1人
2.10.12	東海村社協第3回法人運営強化検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> 法人運営強化検討委員会小委員会の報告結果について 法人運営強化検討委員会中間答申（案）について 	東海村総合福祉センター「絆」	本会から 1人
2.11.17	東海村社協第4回法人運営強化検討委員会	法人運営強化検討委員会最終答申（案）について	東海村総合福祉センター「絆」	本会から 1人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
2. 11. 20	常総市社協第1回地域福祉活動計画策定管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動計画策定管理委員会について ・委員長の選任について ・事業評価について 	常総市石下総合福祉センター	本会から 1人
2. 12. 23	那珂市地域福祉活動計画第1回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・正副委員長選出 ・研修「第4次那珂市地域福祉活動計画の策定に向けて」 ・第3次那珂市地域福祉活動計画の状況について ・第4次那珂市地域福祉活動計画の策定にあたって ・策定スケジュールについて 	那珂市総合保健福祉センター	本会から 1人
3. 2. 22	那珂市地域福祉活動計画進行管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動計画の進行管理の概要について ・計画進行管理作業について ・短期計画への反映について ・重点課題実施計画、短期・組織強化計画の自己評価について 	那珂市役所瓜連支所分庁舎	本会から 1人 (Zoomによる参加)

(9) ボランティア・市民活動振興対策事業

① 特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズとの連携・協働

- ・理事会への出席2回
- ・総会への出席1回
- ・福祉・医療機関への多文化ソーシャルワーク導入支援事業検討会議への出席2回
- ・花王・ハートポケット倶楽部「地域助成」第1次審査への協力

(10) 防災ボランティア関係事業

① 災害ボランティアセンター用資機材ストックヤードの整備

災害ボランティアセンター用の資機材について、県総合福祉会館の他、県内8か所にストックヤードとして資機材の分散配置を行った。

設置に協力いただいた法人と本会の間で「災害ボランティアセンター用資機材ストックヤード設置に係る覚書」を締結した。

No.	地域	市町村	設置協力法人	覚書締結日
1	県北山間	常陸大宮市	社会福祉法人仁川会	2. 6. 4
2	県西	筑西市	社会福祉法人関耀会	2. 10. 22
3	県北臨海	日立市	社会福祉法人日立市社会福祉協議会	2. 11. 10
4	県北山間	常陸太田市	社会福祉法人誉田会	3. 3. 3
5	県南	つくば市	社会福祉法人関耀会 社会福祉法人つくば市社会福祉協議会	3. 3. 3
6	県西	古河市	社会福祉法人和風会	3. 3. 4
7	県南	かすみがうら市	社会福祉法人明岳会	3. 3. 4
8	鹿行	鹿嶋市	社会福祉法人鹿嶋市社会福祉協議会	3. 3. 29

また、ストックヤードから被災地までの資機材の運搬に協力いただくため、いばらきコープ生活協同組合と「災害時における資機材の運搬に関する協定」を10月12日に締結した。

(11) 茨城県防災ボランティアネットワーク関係

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
12月実施	防災ボランティアネットワーク総会	・ 令和元年度事業報告について ・ 令和2年度事業計画(案)について	(文書)	22人

(12) 善意金（寄付金）の受入と指定払い出し及び助成

社会福祉への善意の寄付金により、県内の福祉施設・団体等への指定払い出しを行うほか、小規模団体等からの申請により事業費助成を行った。

① 善意金の預託

	金額	備考
寄付金	18,081,262円	29件（②預託内訳のとおり）
前年度繰越金	4,389,538円	
合計	22,470,800円	A（⑤の払い出し準備金へ）

② 善意金の預託内訳と払い出し金額及び払い出し先

預託者名	金額	指定払出先
茨城県教育友の会県西支部	33,349円	茨城県社会福祉協議会（交通遺児福祉基金）
(株)ライズ(6件)	37,698円	茨城県社会福祉協議会（法人運営）
(株)セイコーマート	818,305円	茨城県社会福祉協議会（ボランティア基金）
中央ろうきん友の会水戸南支部	50,000円	茨城県社会福祉協議会（活動支援）
水戸西ロータリークラブ	300,000円	茨城県社会福祉協議会（法人運営）
第一三共(株)	200,000円	茨城県社会福祉協議会（法人運営）
(一財)関東陸運振興センター	1,000,000円	茨城県社会福祉協議会（交通遺児福祉基金）
茨城県遊技業防犯協力会	300,000円	茨城県いのちの電話
	50,000円	茨城県身体障害者福祉団体連合会
	50,000円	茨城県視覚障害者協会
	50,000円	茨城県聴覚障害者協会
	50,000円	茨城県身体障害者福祉協議会
	50,000円	茨城県肢体不自由児者父母の会連合会
	50,000円	茨城県手をつなぐ育成会
	50,000円	茨城県母子寡婦福祉連合会
	750,000円	茨城県社会福祉協議会（法人運営）
100,000円	茨城県社会福祉協議会（ボランティア基金）	
住友林業(株)安全協力施行店会 水戸支部	9,300円	茨城県社会福祉協議会（法人運営）
NPO法人ナルク水戸	100,000円	茨城県社会福祉協議会（法人運営）
水戸ヤクルト販売(株)	150,000円	茨城県社会福祉協議会（はんどちゃんネットワーク運動）
古河ヤクルト販売(株)	100,000円	茨城県社会福祉協議会（はんどちゃんネットワーク運動）
(一社)日本自動車販売協会連合会	1,000,000円	茨城県社会福祉協議会（交通遺児福祉基金）
匿名	1,000,000円	茨城県児童福祉施設協議会
野木利三郎	30,000円	茨城県社会福祉協議会（法人運営）
いばらきコープ生活協同組合	10,000,000円	茨城県社会福祉協議会（市町村社協支援事業）

預託者名	金額	指定払出先
(公財) 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会	100,000円	茨城県社会福祉協議会 (法人運営)
(公財) 茨城新聞文化福祉事業団	900,000円	茨城県社会福祉協議会 (法人運営)
J S A中核	130,800円	茨城県社会福祉協議会 (交通遺児福祉基金)
損保ジャパン (株)	13,080円	茨城県社会福祉協議会 (交通遺児福祉基金)
(株) 明送	100,000円	茨城県社会福祉協議会 (交通遺児福祉基金)
匿名	200円	茨城県社会福祉協議会 (法人運営)
茨城県PTA連絡協議会	200,000円	茨城県社会福祉協議会 (交通遺児福祉基金)
	100,000円	茨城県視覚障害者協会
	100,000円	茨城県手をつなぐ育成会
	100,000円	茨城県肢体不自由児父母の会連合会
小計 a 28 件 (指定払い出し寄付金)	18,072,732円	B (⑤の指定払い出し金額へ)
匿名	8,530円	茨城県社会福祉協議会 (無指定のため善意金助成へ)
小計 b 1 件 (無指定分寄付金)	8,530円	
合計	18,081,262円	29 件(小計 a 28 件 + 小計 b 1 件)

⑤ 善意金繰越金 (払い出し可能金額)

	金額	備考
払い出し準備金	22,470,800円	A (①の合計金額)
指定払い出し金額	18,072,732円	B (②の小計 a 金額)
事務費	18,672円	C
次年度繰越金額	4,379,396円	A - (B + C)

(13) 善意品 (寄贈物品) の受入と払い出し

① 社会福祉への善意の寄贈品を、指定された県内の福祉施設・団体等に払い出しを行った。

善意品の預託と指定払い出し状況

内容 (預託者)	件数	数量等	指定払出先
使用済み切手 (外国切手等含む)	163 件	約 3,895,173 枚	令和 2 年度換金額 290,300 円
使用済みカード	54 件	約 27,892 枚	
ハガキ	18 件	948 枚	(ボランティア・市民活動助成金へ)
車いす (日産プリンス茨城販売(株))	1 件	9 台	社会福祉施設 9 か所
車いす ((株) ツルハホールディングス・クラシエホールディングス (株))	1 件	10 台	社会福祉施設 10 か所
ベビー用紙おむつ等 (いばらきコープ生活協同組合)	2 件	339 袋 他	県内乳児院 2 か所
大人用紙おむつ等 (いばらきコープ生活協同組合)	2 件	122 袋	小美玉市社協・鉾田市社協・茨城町社協
折りたたみ式アルミリヤカー (常陽ボランティア倶楽部)	1 件	4 台	茨城県社協
福祉巡回車 ((一社) 生命保険協会茨城県協会)	1 件	2 台	北茨城市社協・潮来市社協
マスク ((一社) MIJW 水戸発夢を叶えるプロジェクト)	1 件	4,400 枚	県内 44 市町村社協
手作りマスク (チャレンジいばらき県民運動, 茨城県生活学校連絡会)	1 件	200 枚	社会福祉施設 3 か所

内 容 (預託者)	件数	数 量 等	指 定 払 出 先
災害ボランティアセンター用資機材ストックヤード 資機材一式 (ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区)	1 件	1,100,000 円 相当	茨城県社協
パックごはん (日本たばこ産業 (株) 東関東支社)	1 件	240 食	笠間市社協
服薬ゼリー等 ((株) 龍角散)	1 件	—	社会福祉施設 31 か所
さんま水煮缶等 ((株)セブン-イレブン・ジャパン)	3 件	6,731,796 円 相当	市町村社協 33 か所

② 社会福祉貢献活動に係る寄贈品に関する協定に基づく商品寄贈

(株)セブン-イレブン・ジャパン・県・本会の3者において、R2.3.31に締結した「社会福祉貢献活動に係る寄贈品に関する協定」に基づき、25市町村社協に商品寄贈を行った(総額22,107,246円相当)。

※ 25市町村社協：石岡市，下妻市，筑西市，桜川市，水戸市，八千代町，土浦市，つくば市，笠間市，ひたちなか市，城里町，牛久市，那珂市，鉾田町，阿見町，常陸太田市，かすみがうら市，常総市，茨城町，東海村，小美玉市，日立市，神栖市，守谷市，大洗町(寄贈日順)

(14) ボランティア基金事業

基金利息及び指定寄付により，県内のボランティア・市民活動団体等や市町村社協に対する活動費の助成を行った。

① ボランティア基金への預託等

	金 額	備 考
寄 付 金	918,305 円	2 件 (善意金経由)
基金利息収入	10,014,202 円	債券，国債等利息
使用済み切手換金収入等	290,300 円	年度内7回換金
合 計	11,222,807 円	B (③の払い出し準備金へ)

② ボランティア基金の払出

	助成内訳	助成金額	備 考
ボランティア団体助成	13 団体	2,947,755 円	
市町村社協ボランティアセンター助成	27 社協	7,020,049 円	
ボランティア活動振興事業費	県社協	1,595,000 円	
合 計		11,562,804 円	C (③の払い出し金額 11 へ)

③ ボランティア基金繰越金 (払い出し可能金額)

	金 額	備 考
前年度繰越金 (積立金)	50,980,277 円	A
払い出し準備金	11,222,807 円	B (①の合計金額)
払い出し金額	11,562,804 円	C (②の合計金額)
事務費	33,076 円	D
次年度繰越金額	50,607,204 円	(A+B) - (C+D)

(15) 交通遺児福祉基金事業

預託金及び基金利息により、県内の交通遺児に対し就学奨励金（小学校卒業時 70,000 円/人・中学校卒業時 80,000 円/人）の贈呈を行った。

① 交通遺児福祉基金への預託等

	金額	備考
寄付金	2,477,229 円	7 件（善意金経由）
基金利息収入	2,300,000 円	債券, 国債等利息
合計	4,777,229 円	B（③の払い出し準備金）

② 交通遺児福祉基金の払出

	金額	備考
就学奨励金	1,500,000 円	合計 20 人（小学校卒業 9 人 中学校卒業 11 人）※H29 小学校卒業生 1 名分を含む
ナスバコンテスト助成	22,000 円	11 人（図書カード 2,000 円×11 人）
合計	1,522,000 円	C（③の払い出し）

③ 交通遺児福祉基金繰越金（払い出し可能金額）

	金額	備考
前年度繰越金（積立金）	46,772,971 円	A
払い出し準備金	4,777,229 円	B（①の合計金額）
払い出し	1,522,000 円	C（②の合計金額）
事務費	36,676 円	D
次年度繰越金額	49,991,524 円	(A+B) - (C+D)

19 社会福祉施設との連携

(1) 研修及び啓発事業等

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
2.11.13	令和2年度レクリエーション基礎研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・「施設で役立つレクリエーション体験等」 ・「レクリエーションのコツとポイントを確認」 ・「レクリエーションアレンジ法・コミュニケーション技法」 ・「レクリエーション実践」 	県南生涯学習センター	26 人
2.11.19	令和2年度レクリエーション基礎研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・「施設で役立つレクリエーション体験等」 ・「レクリエーションのコツとポイントを確認」 ・「レクリエーションアレンジ法・コミュニケーション技法」 ・「レクリエーション実践」 	県総合福祉会館	27 人

3. 3. 4	令和2年度レクリエーション基礎研修会 (子ども編)	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの可能性に光をあて・引き出すレクリエーション」 ・「基本的な進行の工夫, 声かけなどの配慮」 ・「子どもや支援の環境にあわせたレクリエーションの実施のコツ」 ・「遊びを通して個々の子どもの気持ちをしっかり聴く・感じるコミュニケーション」 	(オンライン)	10人
3. 3.11				7人

(2) 福祉医療機構借入金利子補給費補助事業

事業名	補助金	摘要
民間社会福祉施設整備借入金利子補給費補助事業	30,300,000円	75施設

(3) 他団体への協力・連絡調整・その他

団体名	事業概要(会議事項)	会場 (開催方法)	参加者
茨城県母子生活支援施設連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関ブロ実行委員会 (4回) 	ラーク・ハイツ外	本会から延8人
茨城県心身障害者福祉協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監事監査 (1回) ・ 総会 (1回) (書面審議) ・ 理事会 (1回) (書面審議) 	県総合福祉会館 外	本会から延1人
茨城県救護施設協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監事監査 (1回) ・ 総会 (1回) ・ 研修委員会 (2回) ・ 職員研修会 (1回) (オンライン) ・ 県との情報交換会 (1回) 	県総合福祉会館 外	本会から延12人
茨城県民間社会福祉事業従事者互助会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正副会長会議 (1回) ・ 理事会 (3回) ・ 評議員会 (2回) ・ 監事監査 (1回) 	県総合福祉会館 外	本会から延15人
茨城県社会福祉法人経営者協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監事監査 (1回) ・ 総会 (1回) (文書審議) ・ 正副会長会議 (2回) ・ 理事会 (2回) (内1回書面審議) ・ 委員会 (2回) ・ 研修会 (1回) ・ いばらき生活支援事業 ・ 全国経営協ブロック拡大会議 (1回) ・ 北関東・信越ブロック協議会会長会議 (3回) ・ 北関東・信越ブロック協議会災害担当企画委員会 (2回) ・ 北関東・信越ブロック協議会災害担当企画委員会研修会 (1回) 	県総合福祉会館 外	本会から延23人

(4) 関係機関・団体との共催・後援事業（福祉施設関係）

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
2. 12. 4 ～12. 7	ナイスハートふれあ いフェスティバル 2020	・障害者自身による音楽・ダンス等の文化 活動の発表会（動画），作品展示	ザ・ヒロサワ・ シティ会館	

(5) 茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度事業運営状況

① 加入状況

加入施設 施設区分	加入施設 (ヶ所)	加入人員 (人)
救護施設	3	98
児童福祉施設	45	1,007
保育所	301	5,342
老人福祉施設	367	3,866
身体障害者福祉施設 ※	1	5
障害者自立支援施設	166	2,537
合 計	883	12,855

※ 茨城県立点字図書館

ア 新設施設，契約時新規加入人員，廃止施設及び契約解除施設内訳

加入施設 施設区分	新設施設数	契約時新規 加入人員	廃止施設	契約解除 施 設
救護施設	0	0	0	0
児童福祉施設	1	6	0	0
保育所	7	40	0	1
老人福祉施設	6	61	6	0
障害者自立支援施設	2	10	0	0
合 計	16	117	6	1

イ 新規加入人員 1,535人（令和3年3月31日時点）

② 退職手当金支給状況

ア 支給対象	人員：1,199人	支給額：348,580,980円
イ 1年未満適用外	人員：197人	支給額：0円
ウ 契約解除	人員：1人	支給額：0円
エ 合 計	人員：1,397人	支給額：348,580,980円

※参考 退職者平均加入期間 6年10ヶ月

③ 資金の運用状況

(単位：千円)

預金種別	資金額	平均利率	利子収入等 令和2年度	構成割合	基準とする 配分構成	変更許容 範 囲
預貯金	1,517,269	—	—	22.0%	15%	± 10%
国 債	3,579,186	1.62%	57,938	51.9%	60%	± 10%
地方債	1,799,825	0.98%	17,626	26.1%	25%	± 10%
合 計	6,896,280	1.40%	75,564	100.0%	100%	± 10%

※ 退職手当積立金・基金の充足率は 145.5%
(充足率とは，加入職員全員が退職した場合に支給できる割合を示したものです。)

(6) 福利厚生センター事業

- ① 会員数 (令和2年10月1日現在)
119 法人・団体 (231 事業所) 6,178 人

② 会員交流事業

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会 場	参加者 (助成者人数)
2.10.17	桔梗信玄餅 詰め放題 & 秋の味覚 ぶどう狩り	会員相互の交流を図った。	山梨県	23 人
2.11.13 ~15	日本三景・松島と復興の進む南三陸町 (三陸鉄道乗車) 世界遺産・中尊寺金色堂見学		岩手県他	14 人
2.11.20 ~22	秋の京都2泊3日		京都府	28 人
2.11.21	ワインの夕べ		水戸京成 ホテル	64 人

③ 地域開発メニュー

- ア 家庭常備薬の斡旋 (年4回) : 大日商事, あまの創健
イ 感染症対策品の斡旋 (年1回) : 大日商事
ウ 丸大ハム : お歳暮

(7) 義務教育教員免許志願者介護等体験受入調整事業

① 受入調整結果

	調整人数	終了人数	大学等数	受入施設数		
第1四半期	141 人	0 人	0 校	0 施設		
第2四半期	0 人	0 人	0 校	0 施設		
第3四半期	9 人	8 人	3 校	5 施設		
第4四半期	3 人	1 人	1 校	1 施設		
合 計	153 人	9 人	延 4 校	延 6 施設		
前 年 同 期	調整人数	1,091 人	前 年 比	調整人数	86.0%減	
	終了人数	1,060 人		終了人数	99.2%減	
	大学等数	延 57 校		大学等数	93.0%減	
	受入施設数	延 459 施設		受入施設数	98.7%減	
	令和2年3月31日現在			令和3年3月31日現在		

※ 平成10年度からの終了人数 25,817 人

20 評価機関との連携及び支援事業

(1) 広報啓発及び連携・支援

本会ホームページを活用して、制度の周知や評価に関する公表や情報提供並びに、県内の評価機関との連携・支援を行った。

21 茨城県運営適正化委員会事業

(1) 委員会及び委員の構成

- ① 運営適正化委員会委員選考委員会 構成委員 6人 (敬称略)

構成委員の所属等	氏 名	属性 (提供者・利用者・公益の別)
茨城キリスト教大学	池 田 幸 也	公 益
茨城県民生委員児童委員協議会	倉 持 嘉 男	公 益
茨城県老人クラブ連合会	伊 藤 達 也	利用者
茨城県手をつなぐ育成会	矢 野 清	利用者

構成委員の所属等	氏名	属性（提供者・利用者・公益の別）
茨城県社会福祉法人経営者協議会	前島守雅	提供者
水戸市社会福祉協議会	保立武憲	提供者

② 運営適正化委員会 構成委員 8人 (敬称略)

構成委員の所属等	氏名	属性（提供者・利用者・公益の別）
茨城県弁護士会	秋山安夫	公益（法律）
茨城県ひたちなか保健所	牛尾光宏	公益（医療）
茨城県社会福祉士会	竹之内章代	公益
流通経済大学	村田典子	公益
認知症の人と家族の会茨城県支部	宮原節子	利用者
茨城県精神保健福祉会連合会	兼清紀郎	利用者
茨城県老人福祉施設協議会	小林正典	提供者
茨城県心身障害者福祉協会	中山洋一	提供者

③ 運営適正化委員会 運営監視小委員会 構成委員 8人 (敬称略)

構成委員の所属等	氏名	属性（提供者・利用者・公益の別）
茨城県弁護士会	秋山安夫	公益（法律）
茨城県ひたちなか保健所	牛尾光宏	公益（医療）
茨城県社会福祉士会	竹之内章代	公益
流通経済大学	村田典子	公益
認知症の人と家族の会茨城県支部	宮原節子	利用者
茨城県精神保健福祉会連合会	兼清紀郎	利用者
茨城県老人福祉施設協議会	小林正典	提供者
茨城県心身障害者福祉協会	中山洋一	提供者

④ 運営適正化委員会 苦情解決小委員会 構成委員 4人 (敬称略)

構成委員の所属等	氏名	属性（提供者・利用者・公益の別）
茨城県弁護士会	秋山安夫	公益（法律）
茨城県ひたちなか保健所	牛尾光宏	公益（医療）
茨城県社会福祉士会	竹之内章代	公益
流通経済大学	村田典子	公益

(2) 会議・研修会の開催

① 運営適正化委員会

実施時期	会議事項	会場	参加者
2. 6. 26	・令和元年度福祉サービス苦情解決事業実績について報告	県総合福祉会館	7人
2. 8. 28	・委員改選後初会合 ・委員長、委員長代理の選出、各小委員会委員の指名	県総合福祉会館	7人

② 運営適正化委員会 運営監視小委員会

実施時期	会議事項	会場	参加者
2. 6. 26	・日常生活自立支援事業実施状況報告 ・新規利用者及び契約解除の状況報告	県立健康プラザ	7人
2. 8. 28	・日常生活自立支援事業実施状況報告 ・新規利用者の状況報告	県総合福祉会館	7人

実施時期	会 議 事 項	会 場	参加者
2. 10. 23	・新規利用者の状況報告 ・契約締結審査状況報告	県立健康プラザ	8人
2. 12. 18	・新規利用者の状況報告	県立健康プラザ	7人
3. 2. 19	・新規利用者の状況報告 ・契約締結審査状況報告	ザ・ヒロサワ・ シティ会館	8人

③ 運営適正化委員会 苦情解決小委員会

実施時期	会 議 事 項	会 場 (開催方法)	参加者
2. 4. 24	・苦情相談事例の検討	(書面)	
2. 6. 26	・苦情相談事例の検討・報告	県立健康プラザ	4人
2. 8. 28	・苦情相談事例の検討・報告	県総合福祉会館	3人
2. 10. 23	・苦情相談事例の検討・報告	県立健康プラザ	4人
2. 12. 18	・苦情相談事例の検討・報告	県立健康プラザ	4人
3. 2. 19	・苦情相談事例の検討・報告	ザ・ヒロサワ・ シティ会館	4人

④ その他の会議・研修会

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会 場 (開催方法)	参加者
2. 10. 30	運営適正化委員会 事業研究協議会	・動画配信 (10. 16～10. 30) ・情報交換会 (希望者のみ)	(オンライン)	本会から 2人
2. 10. 9	関東甲信越静ブ ロック運営適正化委 員会委員長等連絡 会, 相談員連絡会	・情報交換 ① 運営監視委員会のおっせん事例について ② 新型コロナウイルス禍の運営適正化委員 会事業の運営について ③ 新型コロナウイルス禍における相談への 対応方法, 感染症対策について ④ 感染対策時における運営監視の実施につ いて	(オンライン)	本会から 3人
3. 2. 19	運営適正化委員会 連絡会議	・運営適正化委員会の役割について ・運営適正化委員会における苦情受付・解決 状況の概要について ・運営適正化委員会に寄せられる苦情について ・意見交換	ザ・ヒロサワ・ シティ会館	15人
3. 3. 2	福祉サービス苦情 解決研修会	・講演 「より良い支援を求めて～苦情から学ぶよ り良い支援とは～」 講師：茨城県社会福祉士会 会長 竹之内 章代 氏	ザ・ヒロサワ・ シティ会館	281人

(3) 広報・啓発事業

① ポスターの配布

広報・啓発用ポスターを県内の各社会福祉施設, 各市町村社協等へ随時配布した。

② パンフレットの配布

広報・啓発用パンフレットを県内の各社会福祉施設, 各市町村社協等へ随時配布した。

③ 資料の配布

「第三者委員の役割と活動」を県内の各社会福祉施設, 各市町村社協等へ随時配布した。

- ④ 広報誌への掲載等
 いばらきの社会福祉 特別号 (令和2年 10月1日発行)

(4) 福祉サービス利用援助事業実施状況調査事業

県内福祉サービス利用援助事業を実施している基幹的社協に対し、事業実施状況の調査を実施した。
 訪問調査 日立市社協, 石岡市社協, 常陸太田市社協, 高萩市社協, 北茨城市社協, つくば市社協,
 かすみがうら市社協, つくばみらい市社協, 東海村社協, 美浦村社協, 阿見町社協
 書面調査 水戸市社協外 43 市町村社協

(5) 受理した苦情案件の概要

① 受理した苦情の件数等

受付件数 (月別, 受付方法別) ※「その他」は, 問い合わせ・相談等, 苦情に至らなかった件数

	受 付 方 法							
	来 所		書 面 ・ 電 話 等		そ の 他		計	
	苦 情	そ の 他	苦 情	そ の 他	苦 情	そ の 他	苦 情	そ の 他
4月			12				12	0
5月		1	12	1			12	2
6月			7	1			7	1
7月			12	8			12	8
8月			3	6			3	6
9月			11	7			11	7
10月			12	2			12	2
11月			14	3			14	3
12月			15	1			15	1
1月			12				12	0
2月			8	3			8	3
3月			20	1			20	1
合 計	0	1	138	33	0	0	138	34

種別・苦情申出人の属性

	利用 者		家 族		代 理 人		職 員		そ の 他		計	
	苦 情	そ の 他	苦 情	そ の 他	苦 情	そ の 他	苦 情	そ の 他	苦 情	そ の 他	苦 情	そ の 他
高齢者	6	1	25	4			3	5	2	2	36	12
障害者	35	4	18	1	1		5	3	3	3	62	11
児 童			17				2	2	1	7	20	9
その他	18	1	1	1					1		20	2
合 計	59	6	61	6	1	0	10	10	7	12	138	34

※ 児童には, 保育所を含む

② 申出の要旨, 対応結果等

苦情の相手先	区 分	苦情受付件数	苦 情 解 決 の 結 果						その他, 問合わせ等	
			助相 言談	伝紹 達介	せあ んつ	通 知	そ の 他	継 続 中		要 意 見
			高 齢 者	①サービス内容 (職員の接遇)	18	12	4			2
	②サービス内容 (サービスの質や量)	8	6	2						
	③利用料	1	1							
	④説明・情報提供	3	3							
	⑤被害・損害	2	1	1						
	⑥権利侵害	3	1	1		1			1	
	⑦その他	1	1						11	
障 害 者	①サービス内容 (職員の接遇)	38	25	10		1	2			
	②サービス内容 (サービスの質や量)	6	3	3					2	
	③利用料	6	4			1	1			
	④説明・情報提供	1	1						1	
	⑤被害・損害	3	2				1			
	⑥権利侵害	4	3	1						
	⑦その他	4	1				3		8	
児 童 (保 育 含 む)	①サービス内容 (職員の接遇)	9	4	2		1	2			
	②サービス内容 (サービスの質や量)								1	
	③利用料	2	1	1					1	
	④説明・情報提供	2	2							
	⑤被害・損害	1		1						
	⑥権利侵害	3	2			1				
	⑦その他	3	3						7	
そ の 他	①サービス内容 (職員の接遇)	14	7	4			2		1	
	②サービス内容 (サービスの質や量)									
	③利用料									
	④説明・情報提供									
	⑤被害・損害									
	⑥権利侵害									
	⑦その他	6	2	3			1		2	
合 計	①サービス内容 (職員の接遇)	79	48	20		2	8		1	
	②サービス内容 (サービスの質や量)	14	9	5					3	
	③利用料	9	6	1		1	1		1	
	④説明・情報提供	6	6						1	
	⑤被害・損害	6	3	2			1			
	⑥権利侵害	10	6	2		1	1		1	
	⑦その他	14	7	3			4		28	
	合 計	138	85	33		4	15		1	34

2.2 茨城わくわくセンター事業

(1) 総合情報誌「わくわくライフいばらき」発行事業

高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報等を掲載した情報誌を年4回発行した。

① 発行日 6月25日, 9月25日, 12月25日, 3月25日

- ② 発行部数 各 10,000 部
- ③ 配布先 関係団体、公民館、病院、理美容店、わくわくサポーター等

(2) 高齢者の生きがいと健康づくりに関する事業の実施

① 高齢者向けニュースポーツ普及事業

ア ニュースポーツ推進員スキルアップ研修会

実施日	令和2年11月12日(木)・13日(金)
会場	小美玉市タスパジャパニミートパーク
研修内容	推進のための情報交換, ユニカール他7種目の実技, 大会の運営について
参加者数	参加者 21名, 指導者 5名

イ ニュースポーツ用具の貸し出し

県・市町村名 (社会福祉協議会)	県わくわく センター	日立市	行方市	土浦市	下妻市	坂東市
貸出件数	30件	2件	12件	8件	9件	2件

② いばらきねんりん文化祭開催事業

ア ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール

実施期日	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会場	参加者
2.10.13	一次審査	<ul style="list-style-type: none"> ・一次審査の手順について ・一次審査 	県総合福祉会館	5人
2.11.4	本審査会	<ul style="list-style-type: none"> ・審査員長の指名 ・コンクールの応募状況等について ・一次審査の結果について ・本審査 	県総合福祉会館	9人
応募点数	190学校, 2,141点			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール作品の展示及び表彰については, コロナウイルス感染拡大防止のため, 中止となった。 			

③ 元気シニア地域貢献事業

実施期日	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会場	参加者
2.11.25	シニアマスター・スキルアップ講習会	茨城シニアマスター活動状況紹介及び実演披露 ①茨城県ニュースポーツ協会 ②双葉すみれ会	県総合福祉会館	24人

登録分野	登録件数	紹介件数
健康・スポーツ分野	64人・団体	67件
文化・芸術分野	115人・団体	
趣味・教養分野	91人・団体	
介護・地域活動分野	12人・団体	
子育て分野	7人・団体	
その他の分野	3人・団体	

④ セカンドライフ応援事業

11月	大宝八幡宮(菊祭り)・真壁の町並み散策とみかん狩りの旅
12月	造幣さいたま博物館と新座市・平林寺散策の旅

23 全国・関東ブロック会議への参加

(1) 会議への参加

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
2. 7. 2	第1回全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告（案）について 令和元年度収支決算報告（案）について 	(書面)	
2. 8. 3 ～9. 4	福祉人材センター職員研修会（業務・法令理解編）	<ul style="list-style-type: none"> 説明「福祉人材センターの概要及び主な事業」 講義「無料職業紹介の役割と業務に必要な労働法規等法令の理解」 	(オンライン 動画配信)	本会から 1人
2. 8. 7	北関東三県地域福祉・ボランティア事業担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における市町村社協関連事業について コロナ禍におけるボランティア関連事業について コロナ禍における災害関連事業について 	(オンライン)	本会から 4人
2. 9	関東ブロック福祉人材センター・バンク連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> 各都県提出の協議議題に係る情報交換 	(書面)	
2.10. 5	全国福祉教育推進員研修 コロナ禍における新たな福祉教育を考える第1回WEBセミナー	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における福祉教育実践の進め方 コロナ禍における福祉教育の具体的なプログラム実践のポイント 各都道府県・指定都市のグループ討議 リフレクション 	(オンライン)	本会から 2人
2.10.13	オンラインサロン part 2	<ul style="list-style-type: none"> 事例報告「社協 LINE 公式アカウント開設を通じた新たなつながりづくり」 事例報告「地縁をつなぐシニア支援型オンラインサロンサービス」 事例の深堀 参加者意見交換 	(オンライン)	本会から 1人
2.11.19	秋季関東都府県・指定都市社協組織・ボランティア業務担当者研究協議会	<ul style="list-style-type: none"> 基調説明「地域共生社会の実現と都道府県・指定都市社協への期待」 分科会「新しい生活様式を踏まえた地域活動を考える」 分科会「新型コロナウイルス感染リスクにおける災害ボランティアセンターの設置について考える」 全体会 	(オンライン)	本会から 2人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場 （開催方法）	参加者
2. 11. 19	令和2年度全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会関東甲信越ブロック会議	<ul style="list-style-type: none"> ・協議1 ねんりんピックに関する予選会の実施方法について ・協議2 新型コロナウイルスにより延期された「ねんりんピック岐阜2020」の影響について ・協議3 県版ねんりんピック事業の今後の展開について ・協議4 高齢者大学及び全国健康福祉祭に係る新型コロナウイルス感染症への対応について ・協議5 老人大学の運営における新型コロナウイルス感染症の予防対策について ・協議6 高齢者の社会参加に関する情報提供について ・協議7 コロナ禍でのシニアの情報提供の工夫について ・協議8 コロナ禍での各事業の取り組みについて ・協議9 シニアリーダーの育成について 	（書面）	
2. 12. 7 2. 12. 22	社会福祉協議会活動全国会議	<p>オンデマンド動画配信形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域共生社会の実現に向けた施策動向と社協の事業・活動の課題」 ・「地域共生社会の実現に向けた施策動向とコロナ禍をふまえた社協の事業・組織基盤の強化について」 <p>ライブ形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（12.7）「コロナ禍での社協の相談援助活動について」 ・（12.22）「コロナ禍での地域活動について」 	（オンライン）	本会から 2人
2. 12. 18	福祉人材センター・バンク基幹職員会議	<ul style="list-style-type: none"> ・基調報告 ・実践発表「関係機関・団体との連携による福祉人材確保の取り組み」 ・グループディスカッション「福祉人材確保の取り組みにおける関係者との連携の可能性を考える」 ・講義「福祉人材センターの広報戦略のポイント」 	（オンライン）	本会から 1人
3. 1. 22	都道府県・指定都市社協災害ボランティアセンター会議	<ul style="list-style-type: none"> ・基調説明「コロナ禍における災害支援と課題」 ・実践報告「コロナ禍での災害支援の実践」 ・全社協説明「今後の災害ボランティアセンターの運営の考え方について」 	（オンライン）	本会から 3人
3. 2. 15	第2回全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会	<ul style="list-style-type: none"> ・会費規程改正（案）について ・令和3年度事業計画（案）について ・令和3年度収支予算（案）について 	（書面）	

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
3. 2. 19	関東ブロックブロック別マッチング機能強化研修	<ul style="list-style-type: none"> ・講義Ⅰ「コロナ禍における求職者のニーズと現状」 ・講義Ⅱ「介護現場におけるハラスメントの現状」 	（オンライン）	本会から 6人
3. 2. 24	全国福祉教育推進員研修 コロナ禍における新たな福祉教育を考える第2回WEBセミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・実践報告A「『あなたのまちでやさしさをひろげるために』の活用事例について」 ・実践報告B「福祉教育推進プラットフォームの構築について」 ・グループ討議 	（オンライン）	本会から 2人
3. 3. 23	コロナ禍における災害ボランティアセンター運営研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・基調説明「コロナ禍での災害VCの運営について」 ・実践報告①「令和2年7月豪雨災害における災害VCの取り組み」 ・実践報告②「コロナ禍での災害ボランティア募集と災害VCの運営体制」 ・グループ討議「コロナ禍における災害VC運営と課題」 ・全社協説明「災害VCに係る状況等について」 	（オンライン）	本会から 2人

2.4 茨城県災害福祉支援ネットワーク事業

（1）茨城県災害福祉支援ネットワーク事業

① 会議等への参加

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
3. 3. 9	茨城県災害福祉支援ネットワーク会議	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度活動報告について ・令和3年度活動計画（案）について 	（書面）	
3. 3. 26	災害派遣福祉チーム活動リーダー育成のための意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害派遣福祉チーム（DWA T）養成の考え方について ・福祉防災サポートオフィス未来の研修プログラムについて ・ぐんまDWA Tの研修体系に基づく人材育成について 	（オンライン）	本会から 2人

（2）茨城県災害派遣福祉チームの派遣に関する基本協定の締結

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 （開催方法）	参加者
2. 7. 28	茨城県災害福祉チームの派遣に関する基本協定	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県、（一社）茨城県リハビリテーション専門職協会、本会の3者による、茨城県災害派遣福祉チームの派遣に関する基本協定の締結 	（書面）	

(3) 茨城県災害派遣福祉チーム員の募集及び研修等

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
2. 9. 17 2. 9. 18	茨城県災害派遣福祉 チーム員登録研修	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者 54 人 (9/17 : 27 人, 9/18 : 27 人) ・災害派遣福祉チームについての基本事項 ・避難所における福祉ニーズを考える ・災害時の福祉支援活動の実際～災害派遣福祉チーム (DWA T) の活動～ ・一般避難所における災害派遣福祉チームの活動 	(オンライン)	本会から 2 人
2. 10. 31	茨城県・坂東市避難 力強化訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設訓練補助 ・避難者への聴き取り ・何でも相談コーナーでの相談対応 	坂東市立七重 小学校	本会から 3 人

(4) 茨城県災害派遣福祉チーム員の登録

- ① チーム員登録者数：54 人

2.5 施設等職員緊急補充事業

新型コロナウイルス感染症の発生により、職員が不足する高齢者施設、障害者施設、児童養護施設等の社会福祉施設に対し、他の法人施設からの応援職員の派遣について、各団体及び施設等との連絡調整並びに登録関係の調整等に努めた。

(1) 感染症発生時における職員の派遣に関する覚書の締結

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場 (開催方法)	参加者
2. 10. 7	感染症発生時における職員の派遣に関する覚書の締結	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県（保健福祉部長寿福祉推進課）、（一社）茨城県介護老人保健施設協会、（一社）茨城県老人福祉施設協議会と本会の 4 者による、感染症発生時における職員の派遣に関する覚書の締結 	(書面)	
2. 12. 21		<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県（保健福祉部障害福祉課）、（一社）茨城県心身障害者福祉協会と本会の 3 者による、感染症発生時における職員の派遣に関する覚書の締結 	(書面)	

(2) 感染症発生時における派遣職員の登録状況等

- ① 派遣職員の登録状況
- ・高齢者関係施設：86 人（県老健協 10 人，県老協 76 人）
 - ・障害関係施設：51 人（県心身協 51 人）
- ② 派遣職員に関する経費負担
- ・応援派遣登録者の傷害保険加入：133 人

(3) 感染症発生時における派遣職員に関する会議・研修会の開催

- ① 会議
- ・茨城県保健福祉部長寿福祉推進課（2 回）
 - ・茨城県保健福祉部障害福祉課（1 回）

② 研修会

- ・高齢者関係施設職員を対象に、「新型コロナウイルス感染症の対応方法」の研修会を、2回（1月15日、1月25日）実施した（オンライン）。

26 新型コロナウイルス感染症に関する対応

(1) 茨城県総合福祉会館の対応について

①利用者等への対応

- ・手指の消毒や咳エチケットなど感染症予防に係る利用案内についてホームページに掲載するとともに、会館や各会議室入口に掲示した。
- ・会議室利用者へ消毒液を貸し出す他、共用部分（階段手すり、ドアノブ、テーブル等）について頻繁に消毒液でふき取りを行った。
- ・ソーシャルディスタンスを確保するための利用制限を実施した。
- ・「いばらきアマビエちゃん」を事業所として登録し、利用者へ登録を促すとともに、会館ホームページに登録用バナーを設置した。

②利用状況

- ・令和2年度における新型コロナウイルス感染予防を理由とした会議室等利用キャンセルは1,478件発生した。なお、新型コロナウイルス感染対策を理由としたキャンセルのうち利用料納付済の催事については、利用料金を返還した。

③ 研修室の利用制限

- ・4月14日～5月17日：休館（貸室利用停止）
- ・5月18日以降、ソーシャルディスタンス確保のため、下記の通り研修室の利用人数制限を実施。

研修室名	利用可能人数（目安）	席の配置	※通常期人数
コミュニティホール	約100名		296名
楽屋	約10名		—
大研修室	約75名	1テーブル1人（5×15）	150名
中研修室	約27名	1テーブル1人（3×9）	80名
小研修室A	約14名	1テーブル1人（2×7）	40名
小研修室B	約5～6名		10名
高齢者研修室（33畳）	約16～17名	1人2畳	—
多目的ホール	約56名	1テーブル2人（28台）	—

(2) 本会主催イベント等の対応について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、この時期に実施する必要がある、変更が困難なもの以外は、下記のとおり中止とした。

実施日	行 事
2. 4. 22	義務教育教員免許志願者介護等体験事務担当者会議
2. 4. 24	運営適正化委員会（一部文書対応）
2. 5. 13	市町村社会福祉協議会常務理事・事務局長会議
2. 5. 15	茨城県社会福祉協議会等事業説明会
2. 5. 21 ～ 7. 22	第1期わくわくニュースポーツ推進員養成講習会
2. 6. 25	福島さくらんぼ狩り・アサヒビール工場見学と旧堀切邸の旅
2. 7. 15	ニュースポーツ体験教室（守谷市）
2. 7. 16	初夏の群馬 わたらせ溪谷 富弘美術館と足尾銅山の旅
2. 9. 4 ～11. 25	第2期わくわくニュースポーツ推進員養成講習会

実施日	行 事
2. 10. 15	第 25 回茨城健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会
2. 10. 31 ～11. 3	第 33 回全国健康福祉祭ぎふ大会 (ねんりんピック岐阜 2020)
2. 11. 19	ニュースポーツ体験教室 (笠間市)
2. 12. 2	ニュースポーツ体験教室 (稲敷市)
2. 12. 5	福利厚生センター会員交流 (神奈川県)
2. 12. 12	福利厚生センター会員交流 (東京都)
2. 12. 19	福利厚生センター会員交流 (神奈川県)
3. 1 ～ 2	社会福祉施設への巡回指導 (10ヶ所)
3. 1. 15 ～17	第 25 回茨城健康福祉祭児童画コンクール (展示・表彰式の中止)
3. 1. 23	災害ボランティアセンター運営訓練・防災ボランティアリーダー養成研修会 (小美玉市社協共催)
3. 1. 27	救命講習会
3. 1. 30	災害ボランティアセンター運営訓練・防災ボランティアリーダー養成研修会 (利根町社協共催)
3. 1. 30	福利厚生センター会員交流 (埼玉県)
3. 2. 7	災害ボランティアセンター運営訓練・防災ボランティアリーダー養成研修会 (常陸太田市社協共催)
3. 2. 9	国立歴史民俗博物館, 成田山・新勝寺参拝, 予科練平和記念館見学の旅
3. 2. 19 ～ 2. 25	第 25 回茨城健康福祉祭わくわく美術展
3. 2. 21	災害ボランティアセンター運営訓練・防災ボランティアリーダー養成研修会 (龍ヶ崎市社協共催)
3. 2. 27	災害ボランティアセンター運営訓練・防災ボランティアリーダー養成研修会 (美浦村社協共催)
3. 3. 10	佐野厄除け大師と足利学校・鑿阿寺の旅
開催日未定	サロン運営者養成講座
	福祉コミュニティづくり推進のつどい
	市町村社協訪問
	市町村社協階層別研修 (次長クラス研修・トップセミナー)
	市町村社協課題別研修 (経理研修・CSW研修)
	志民の学び縁卓会議
	地域福祉・ボランティア担当者会議
	ボランティア担当者・ボランティアコーディネーター研修会
	ボランティア・市民活動フェスティバル
	防災ボランティアネットワーク世話人会
	市町村社協生活福祉資金貸付事業担当者研修会
	自立相談支援機関と生活福祉資金貸付期間との連携会議
	不動産担保型生活資金担当者研修会
	生活福祉資金滞納世帯戸別訪問
	日常生活自立支援事業担当者会議
	福島県復興支援員運営協議会
	福祉サービス事業所訪問
福利厚生センター加入促進個別訪問	